令和８年度 和泉市 学習状況調査結果概要

児童生徒質問調査について

子どもたちの学習や生活状況に関する児童・生徒に対するアンケート調査は、小学校73項目・中学校80項目の質問からなります。

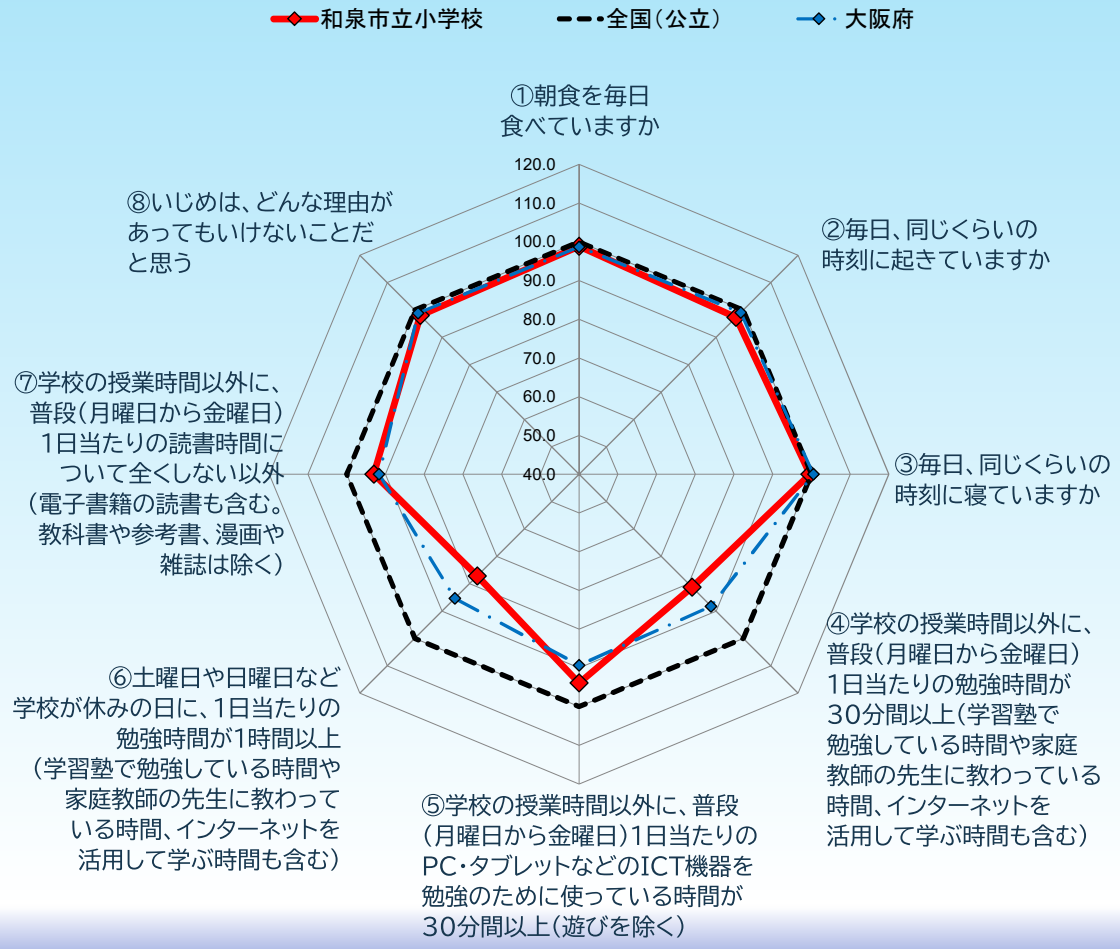
質問の内容は学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するもので、質問ごとに用意された選択肢から一つを選ぶ方式です。過去の全国学力・学習状況調査からも、基本的な生活習慣と学力とは相関関係があることが分かっています。今年度の和泉市の調査結果を、全国の公立学校の調査結果、過去の和泉市の調査結果と比較し、下記の６項目に沿って、和泉の子どもたちの様子について分析しています。

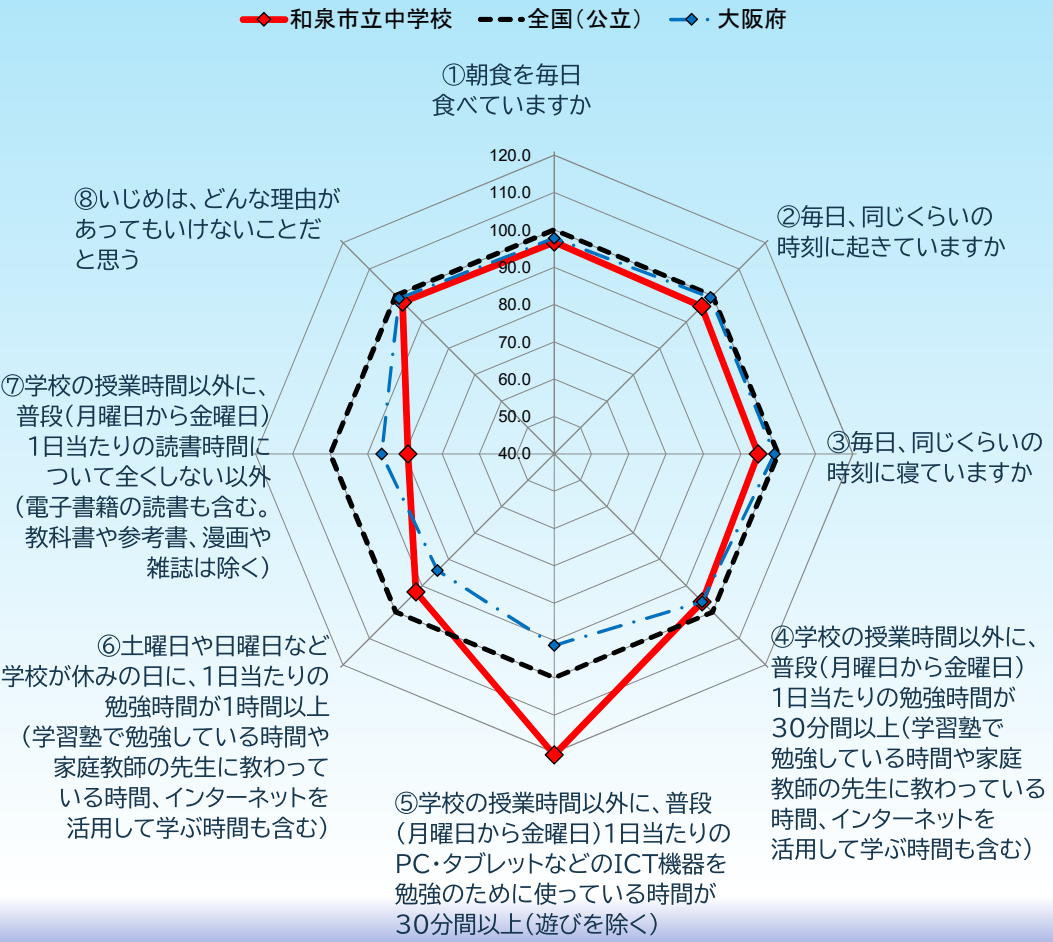
※小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程を含みます。

和泉の子どもたちの様子について

1. 生活リズムが身についている子ども
2. 自分を大切にし、他者を思いやる子ども
3. 多様性を認め、いじめを許さない子ども
4. 自らすすんで学習をする子ども
5. 地域と関わり、よりよい社会をめざす子ども
6. 楽しく学び続ける子ども

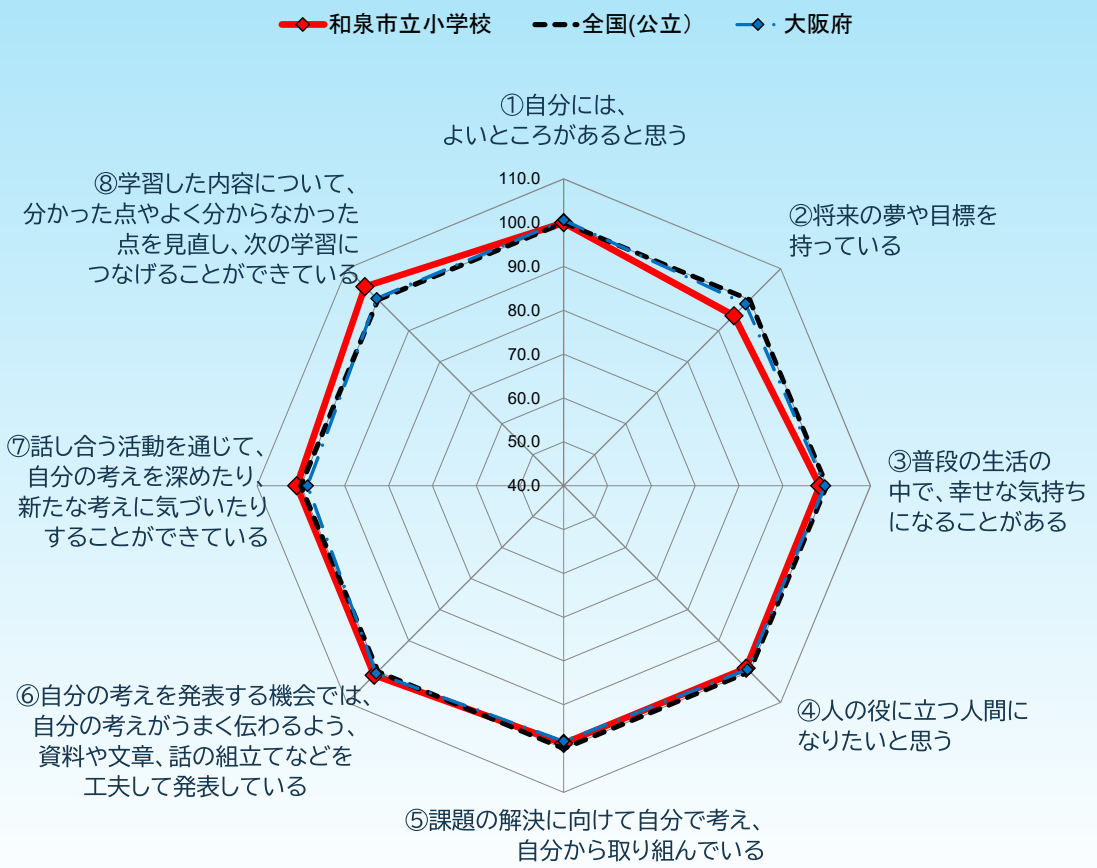
「基本的生活習慣」「学習時間等」「規範意識」について

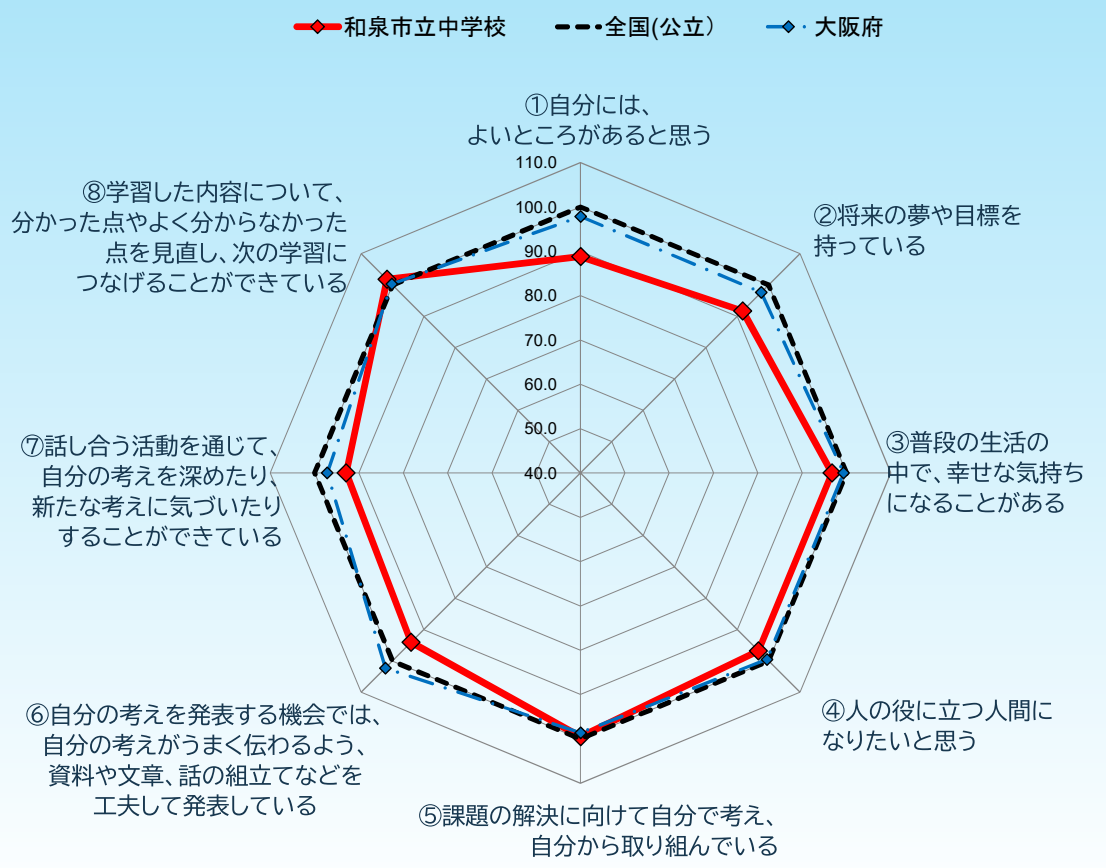




児童生徒質問のうち、代表的な項目について、市全体の結果をレーダーチャートに表したものです。※全国（公立）の結果を100として、表しています。

「自分に関すること」「学習状況」について

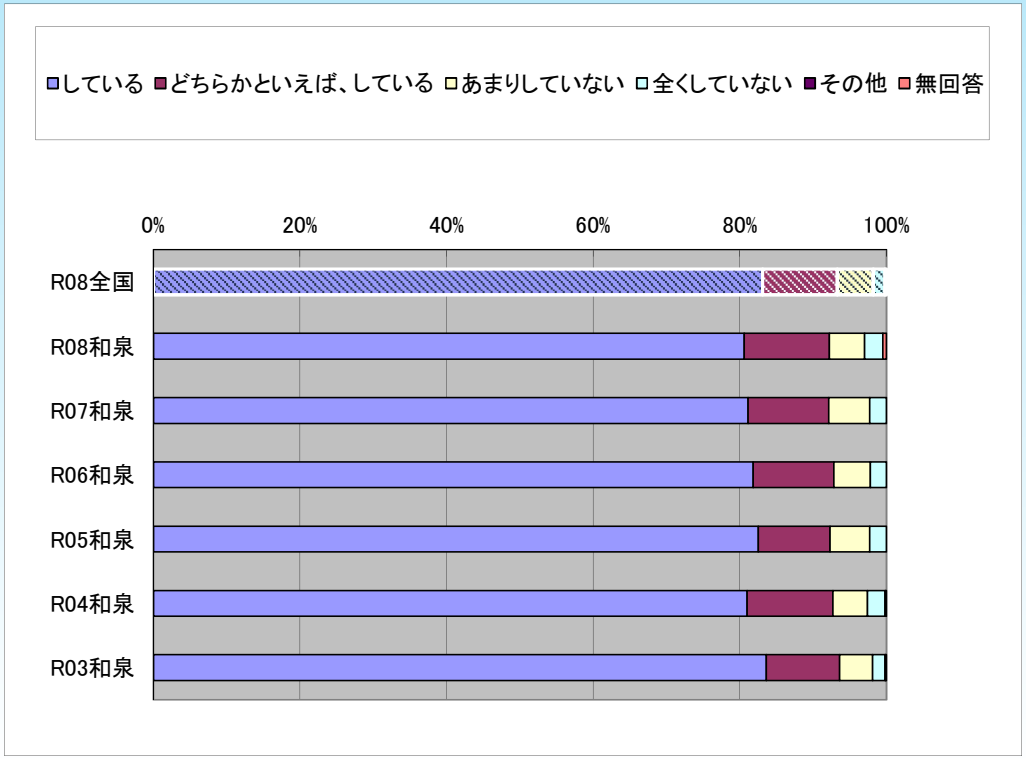




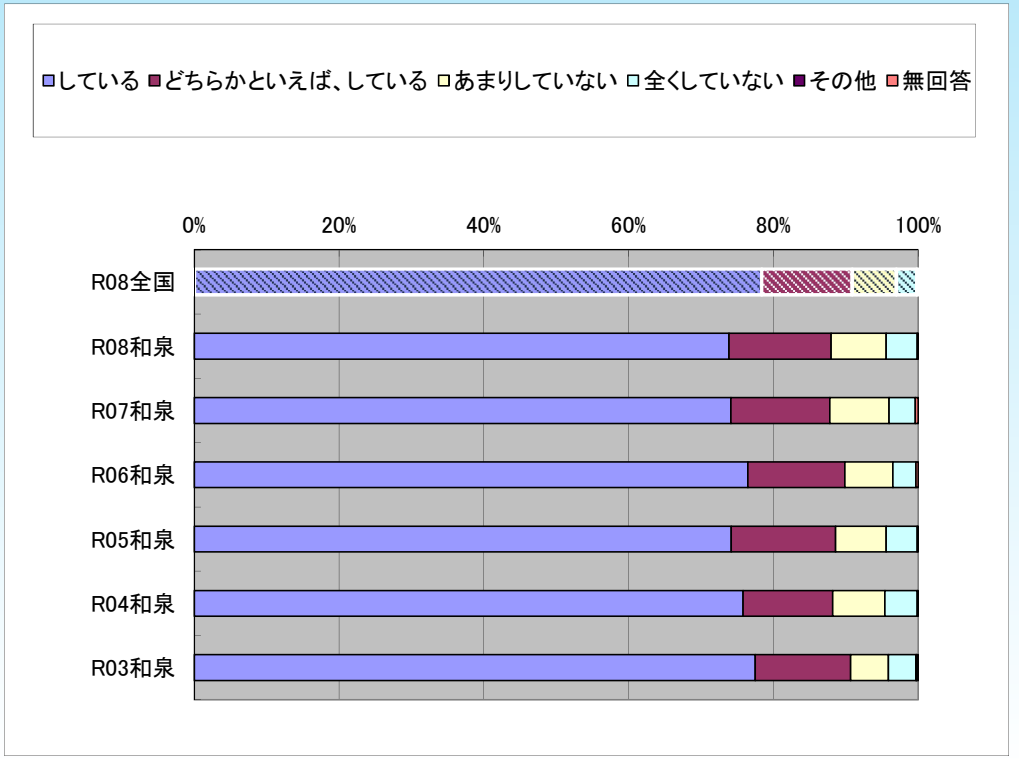
児童生徒質問のうち、代表的な項目について、市全体の結果をレーダーチャートに表したものです。※全国（公立）の結果を100として、表しています。

1．生活リズムが身についている子ども

1－①　朝食を毎日食べていますか



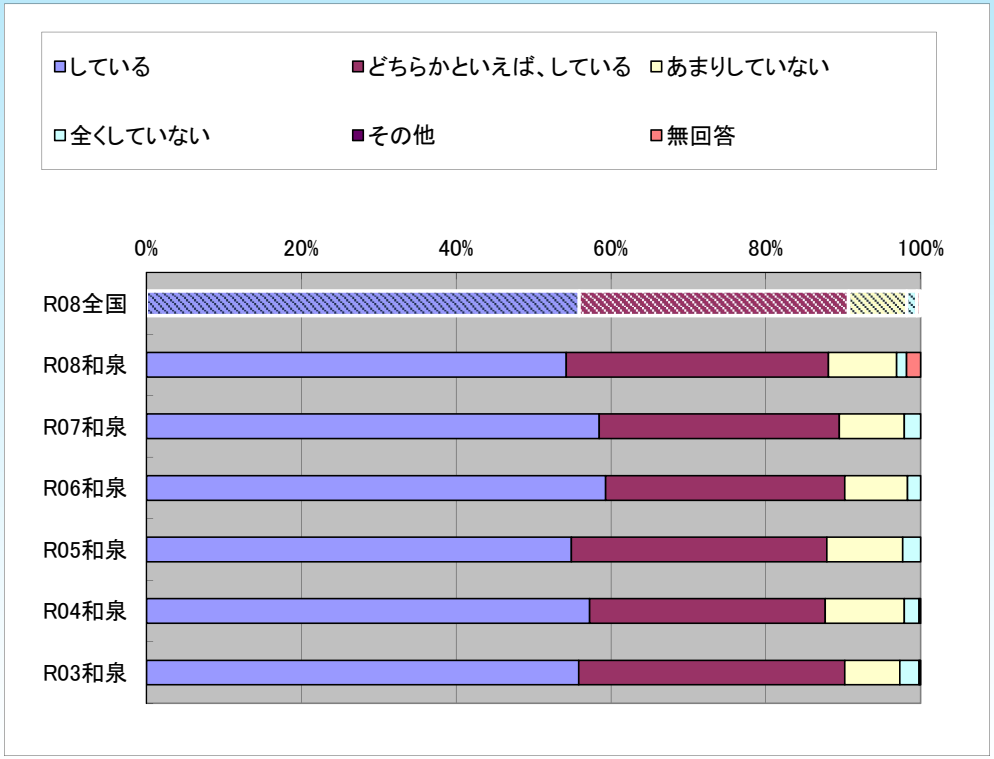
小学校・義務教育学校（前期課程）



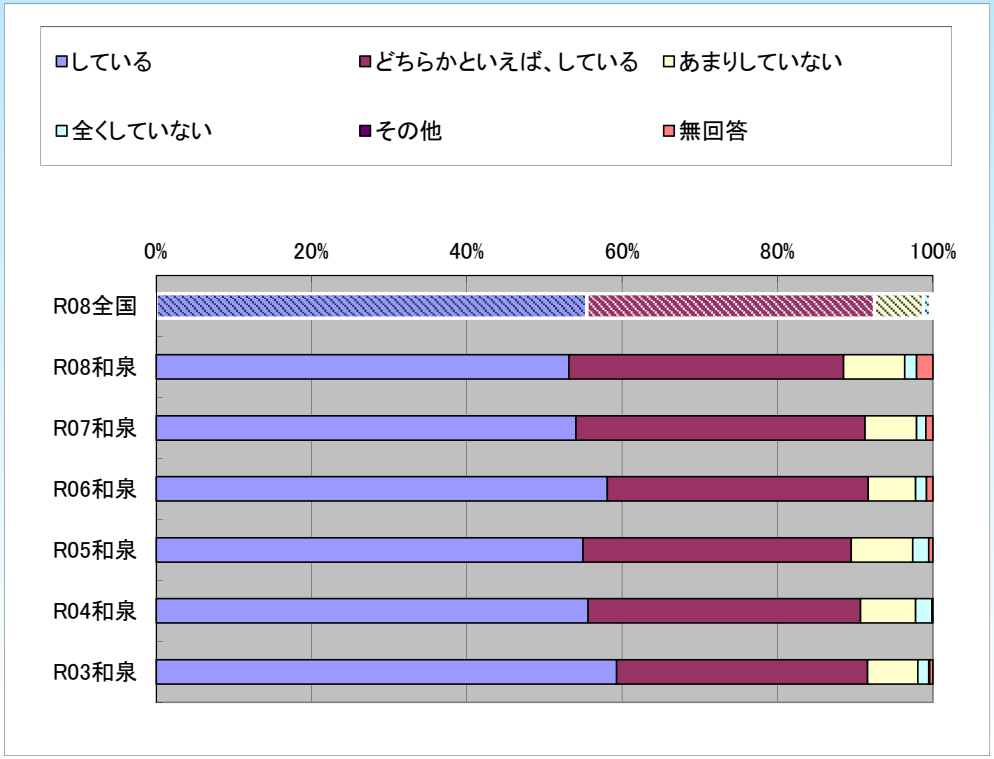
中学校・義務教育学校（後期課程）

1．生活リズムが身についている子ども

1－②　毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



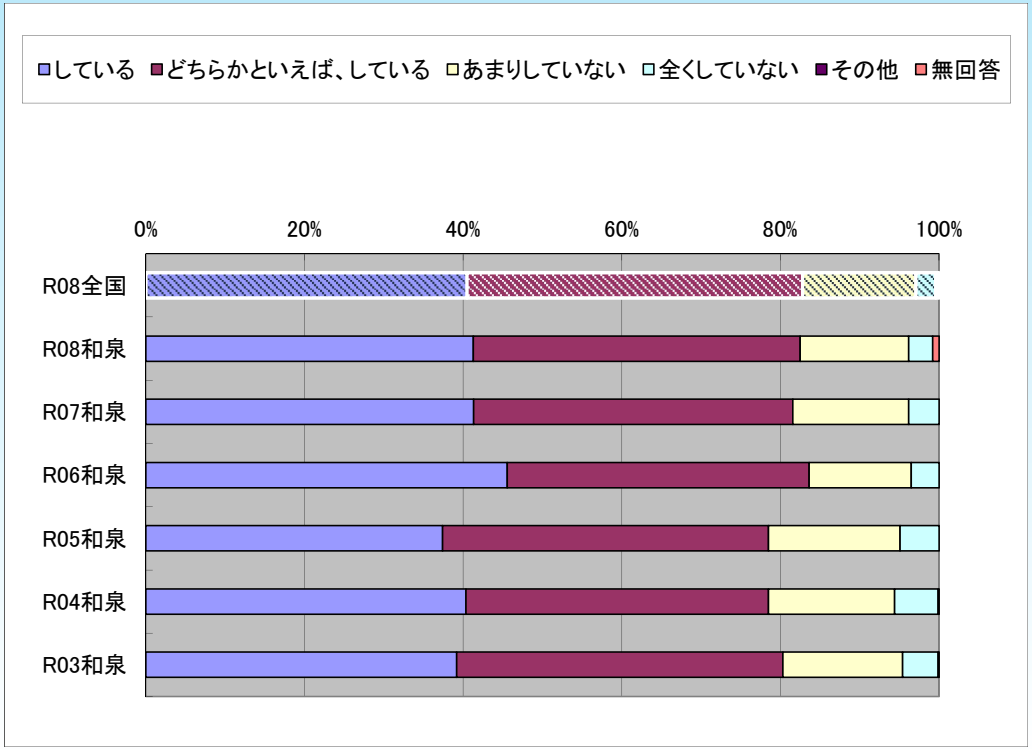
小学校・義務教育学校（前期課程）

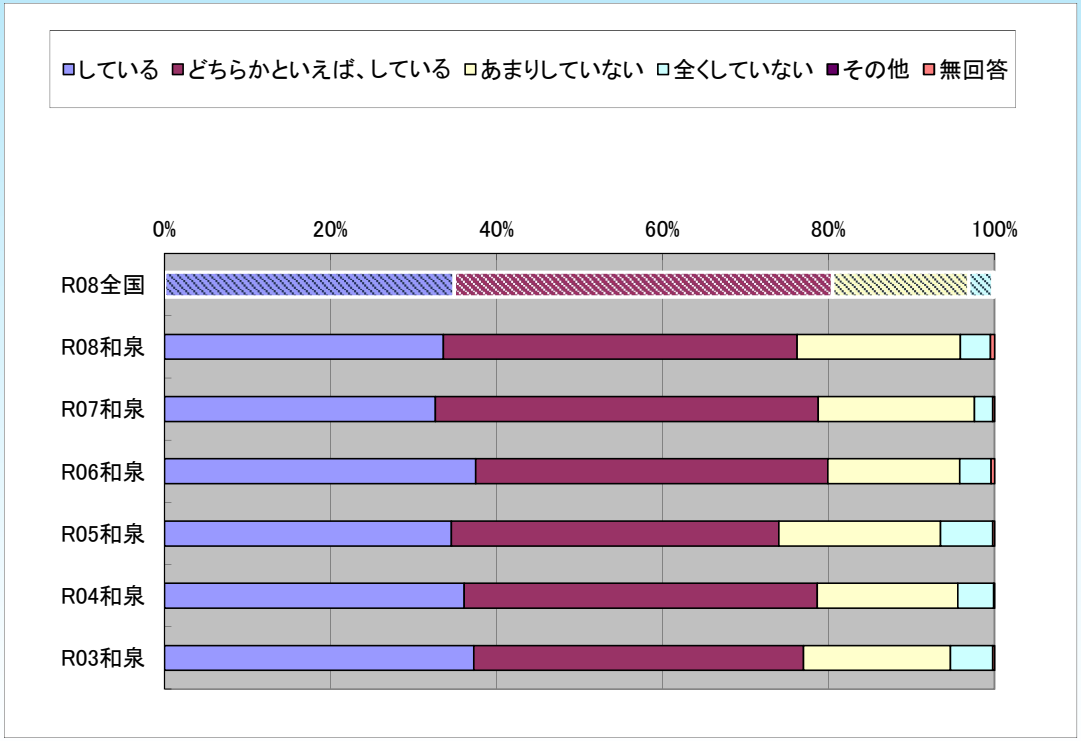


中学校・義務教育学校（後期課程）

1．生活リズムが身についている子ども

1－③　毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか





小学校・義務教育学校（前期課程）

中学校・義務教育学校（後期課程）

１．生活リズムが身についている子ども

調査結果の概要

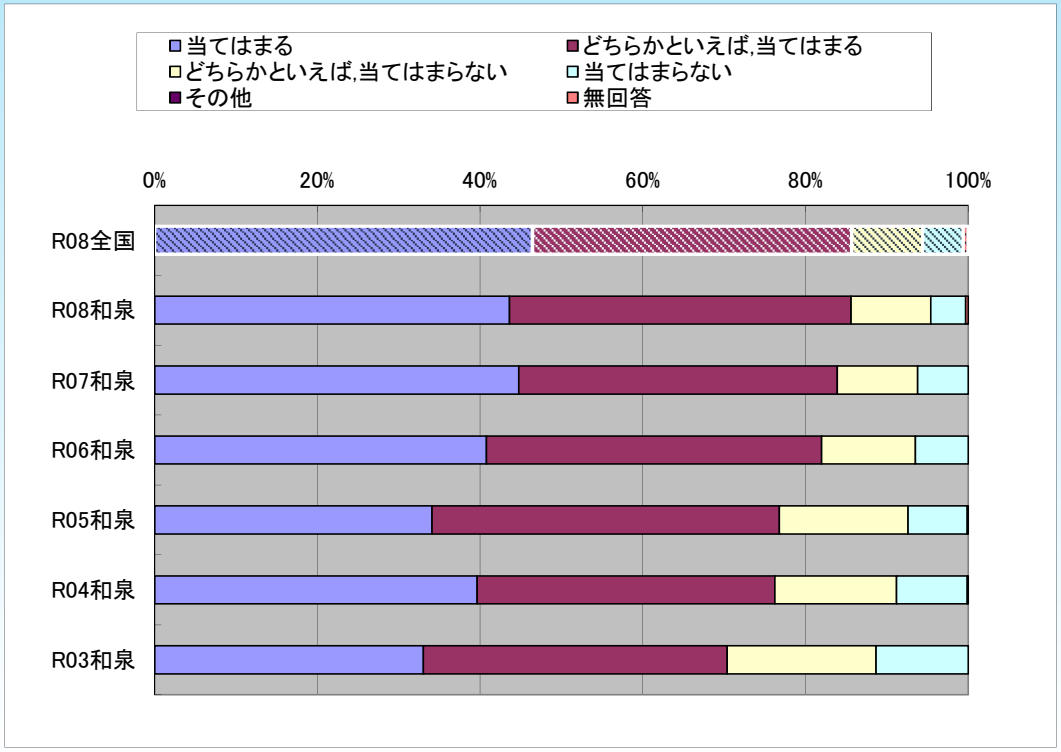
◇1－①「朝食を毎日食べているか」の項目では、肯定的な回答の割合は、小・中学校ともに昨年度とほぼ同様となっています。
◇1－②「毎日、同じくらいの時刻に起きているか」の項目では、小・中学校ともに肯定的な回答の割合が昨年度より低下しています。
◇1－③「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」の項目では、小学校では昨年度とほぼ同様の傾向となっている一方、中学校では肯定的な回答の割合がやや低下しています。中学校では、生活リズムに関する項目で全国を下回る傾向がみられます。

保護者のみなさまへ

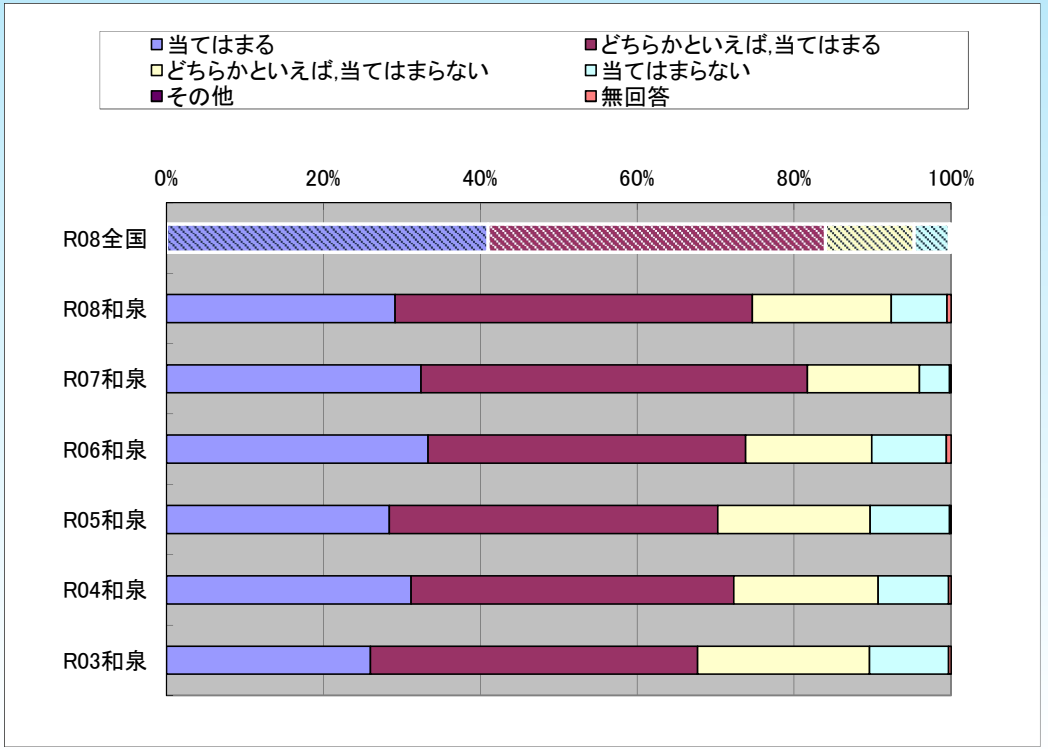
◎朝食をとることや、決まった時刻に起きたり寝たりすることなど、規則正しい生活習慣は、子どもたちの心と体の健康を支えるとともに、学習に向かうための大切な基盤となります。特に成長期には、十分な睡眠やバランスのとれた食事など、毎日の生活の積み重ねが重要です。
◎ご家庭でも、生活の時間をお子さまと一緒に振り返り、「早寝・早起き・朝ごはん」を意識しながら、無理なく規則正しい生活リズムを整えてあげてください。休日の過ごし方も、平日と大きくずれないようにすることで、生活リズムを整えていきましょう。

2．自分を大切にし、他者を思いやる子ども

2－①　自分には、良いところがあると思いますか



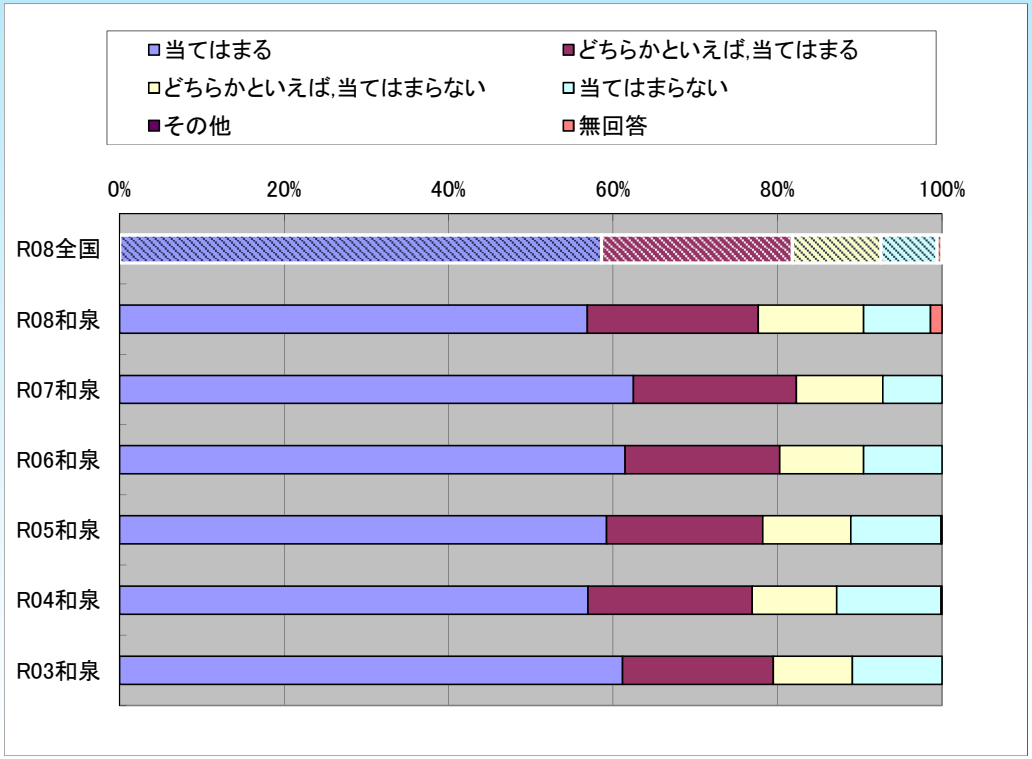
小学校・義務教育学校（前期課程）



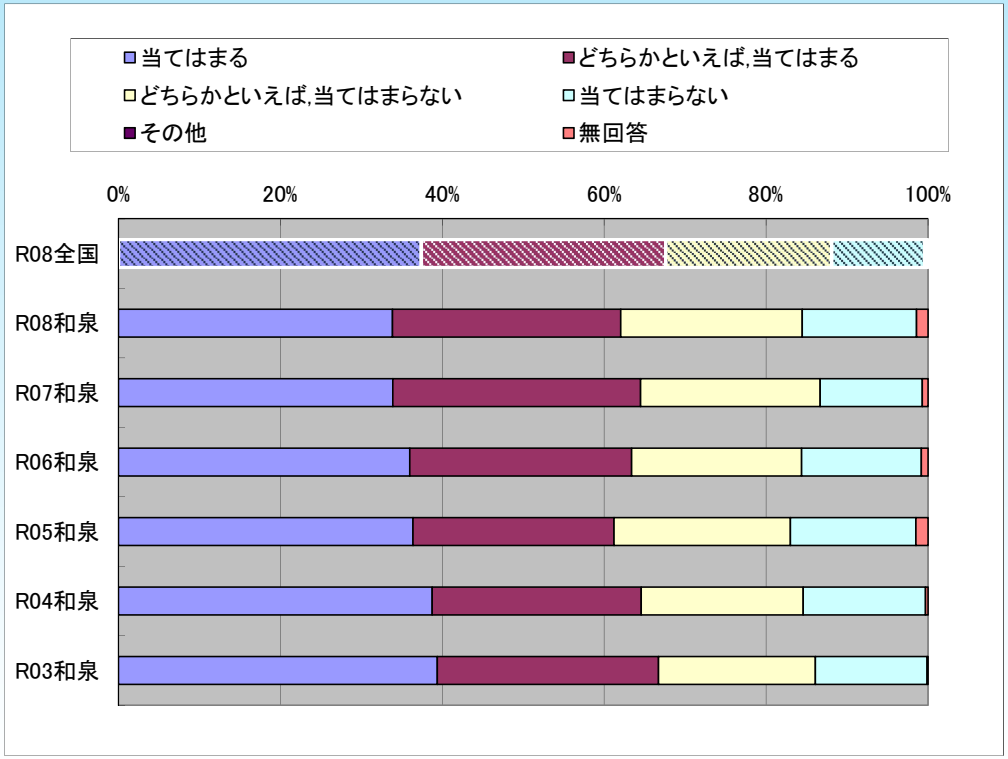
中学校・義務教育学校（後期課程）

2．自分を大切にし、他者を思いやる子ども

2－②　将来の夢や目標を持っていますか



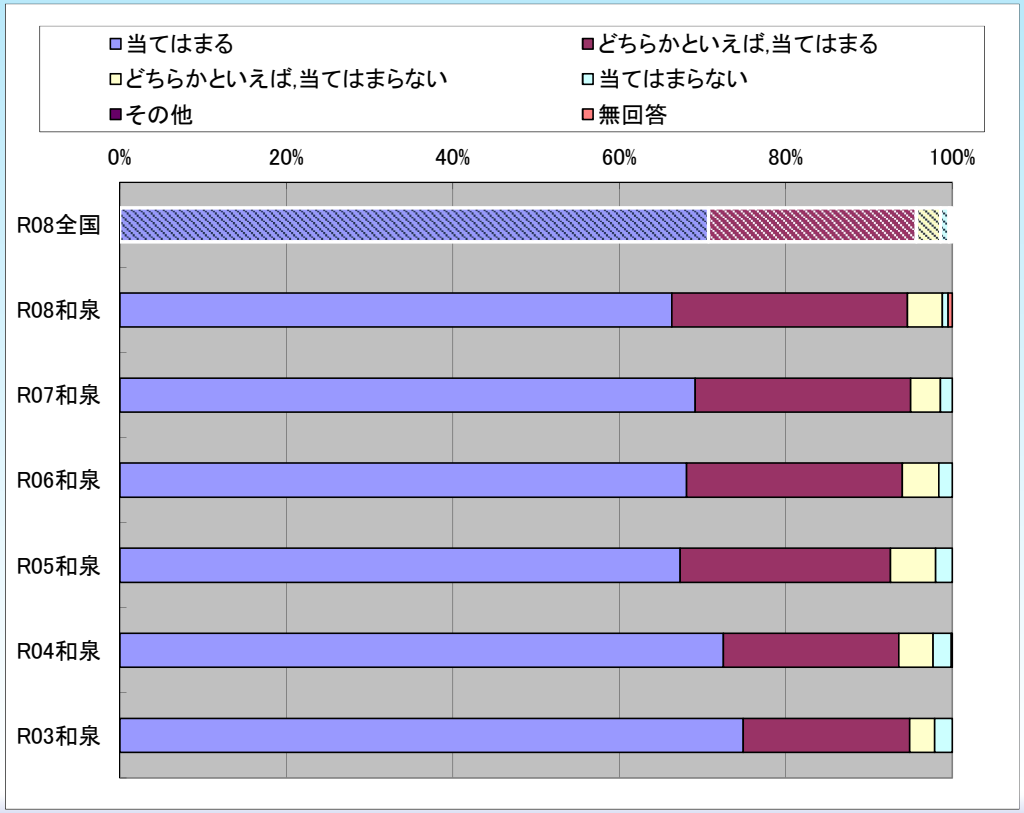
小学校・義務教育学校（前期課程）



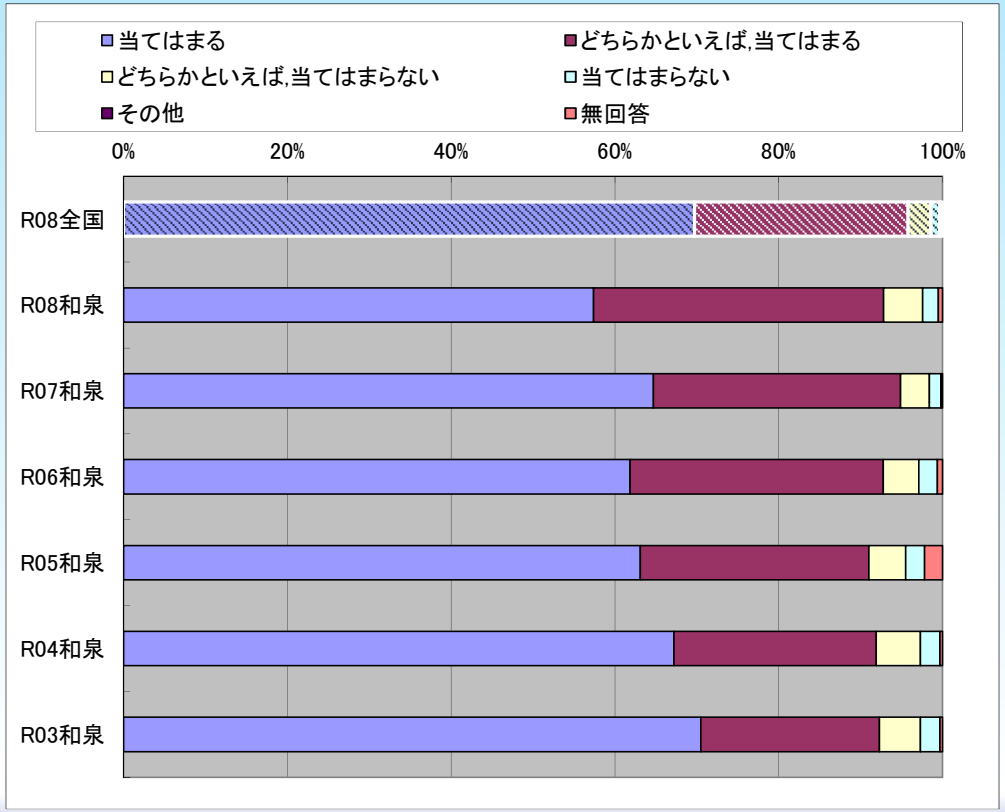
中学校・義務教育学校（後期課程）

2．自分を大切にし、他者を思いやる子ども

2－③　人の役に立つ人間になりたいと思いますか



小学校・義務教育学校（前期課程）



中学校・義務教育学校（後期課程）

2．自分を大切にし、他者を思いやる子ども

調査結果の概要

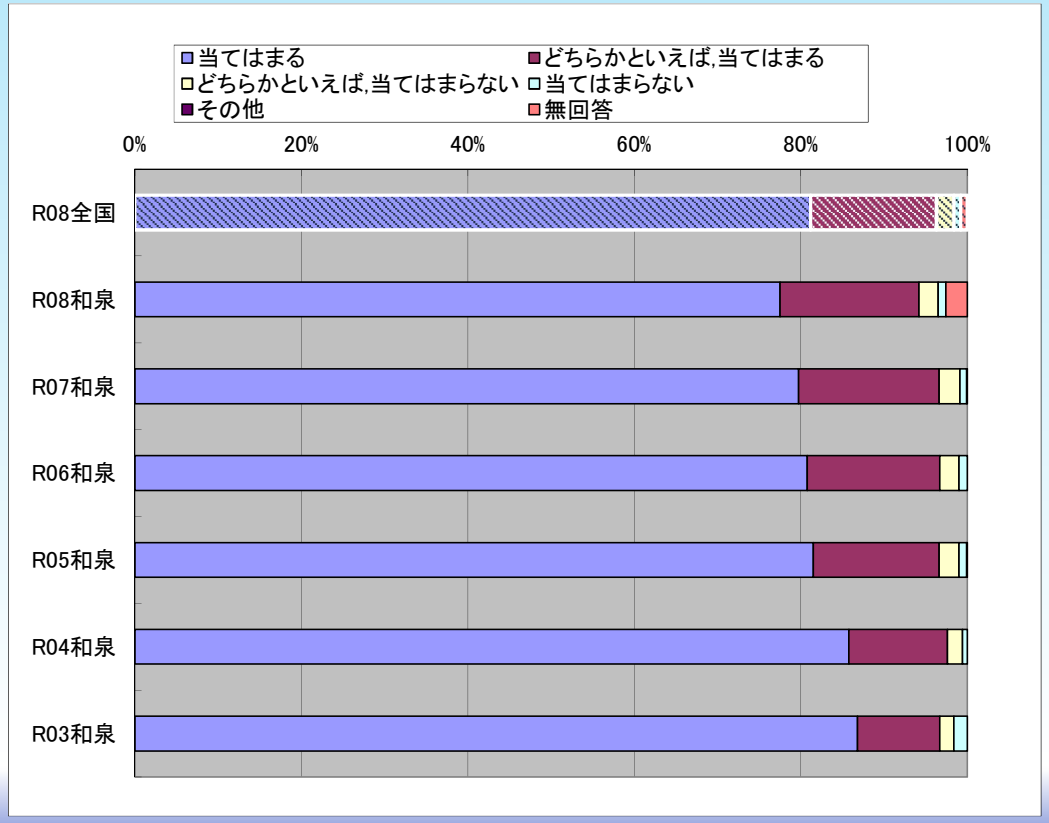
◇2－①「自分には、良いところがあると思うか」の項目では、小学校では肯定的な回答が全国と同程度となっており、経年的にも改善の傾向がみられます。一方、中学校では、昨年度より肯定的な回答の割合が低下しています。
◇2－②「将来の夢や目標を持っているか」の項目では、小・中学校ともに昨年度より肯定的な回答の割合が低下しています。
◇2－③「人の役に立つ人間になりたいと思うか」の項目では、肯定的な回答は引き続き高い割合となっていますが、特に中学校で「とてもそう思う」の回答の割合が低下しています。

保護者のみなさまへ

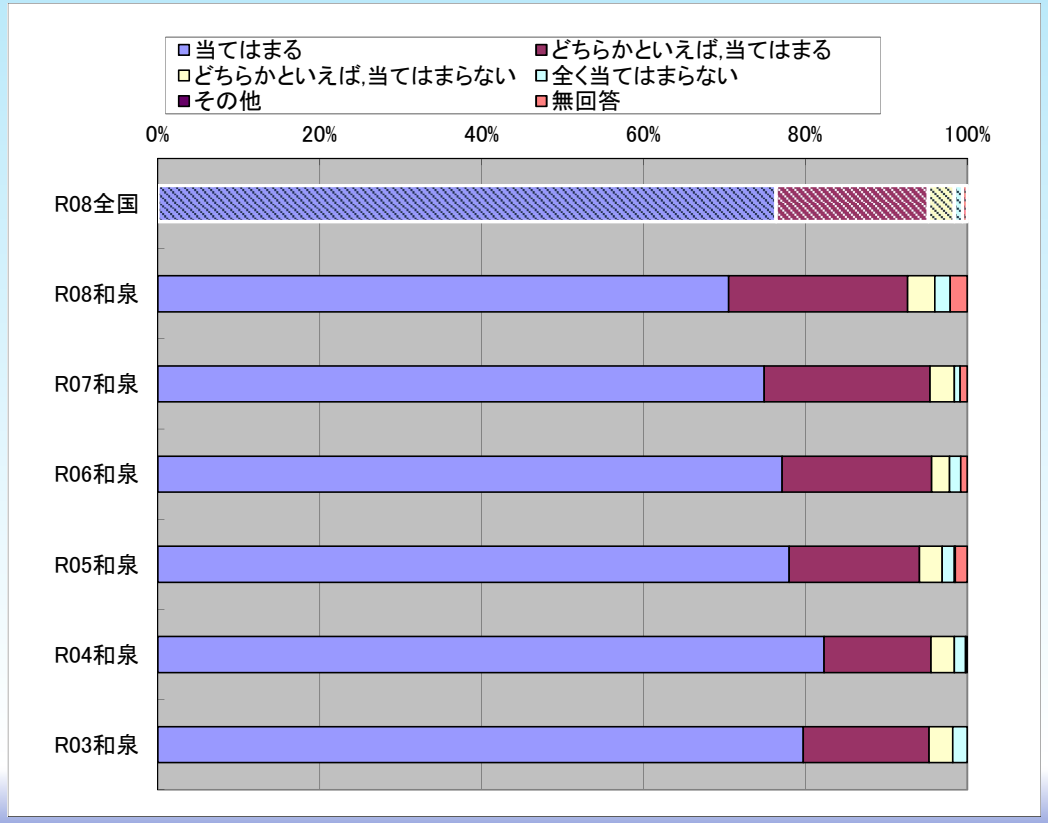
◎子どもが自分の良さを認め、「自分も誰かの役に立っている」「自分は大切にされている」と感じることは、自信をもって様々なことに挑戦するための力になります。日々の生活の中で、お子さまが取り組んだことに対して、結果とあわせて「自分で工夫して最後までやったね」など、努力したことや工夫したこと、以前よりできるようになったことを、具体的な言葉で認めてあげてください。
◎家庭の中で役割を任せ、感謝を言葉にして伝えることも、自己有用感を高めることにつながります。夢や目標がまだ決まっていなくても急がせず、興味をもったことを話題にして、自分らしく挑戦していけるよう、様々な経験をする機会を大切にしてください。

3．多様性を認め、いじめを許さない子ども

3－①　いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



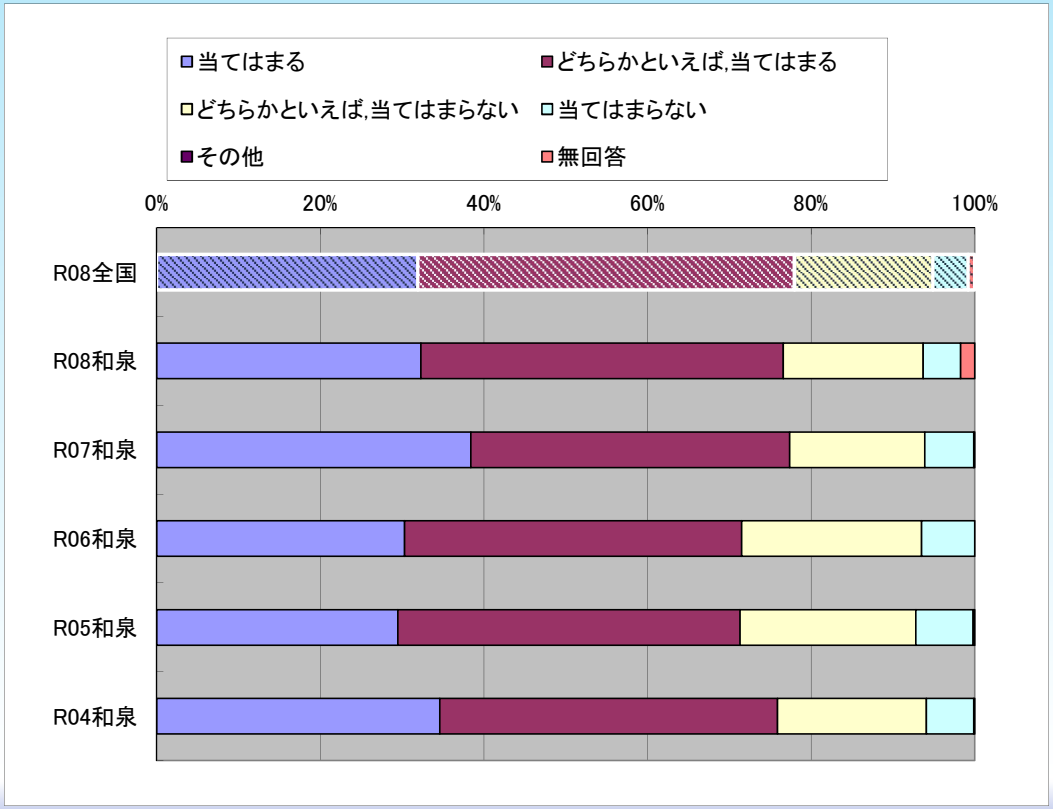
小学校・義務教育学校（前期課程）



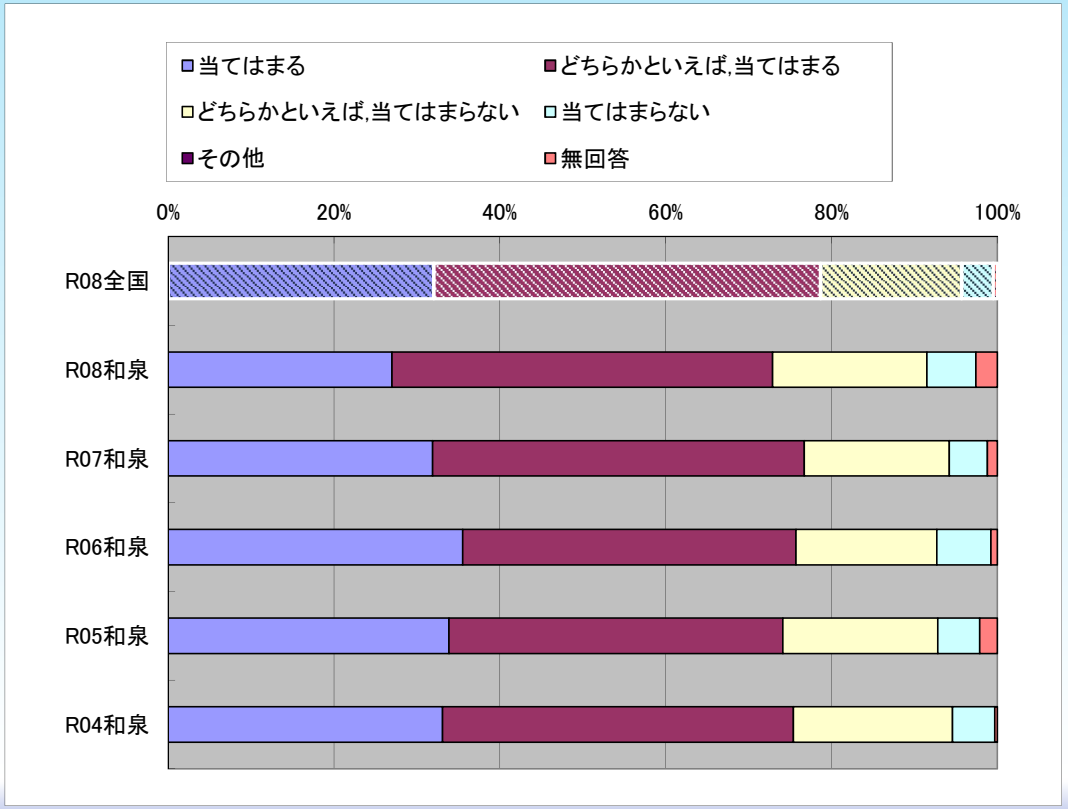
中学校・義務教育学校（後期課程）

3．多様性を認め、いじめを許さない子ども

3－②　自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



小学校・義務教育学校（前期課程）



中学校・義務教育学校（後期課程）

３．多様性を認め、いじめを許さない子ども

調査結果の概要

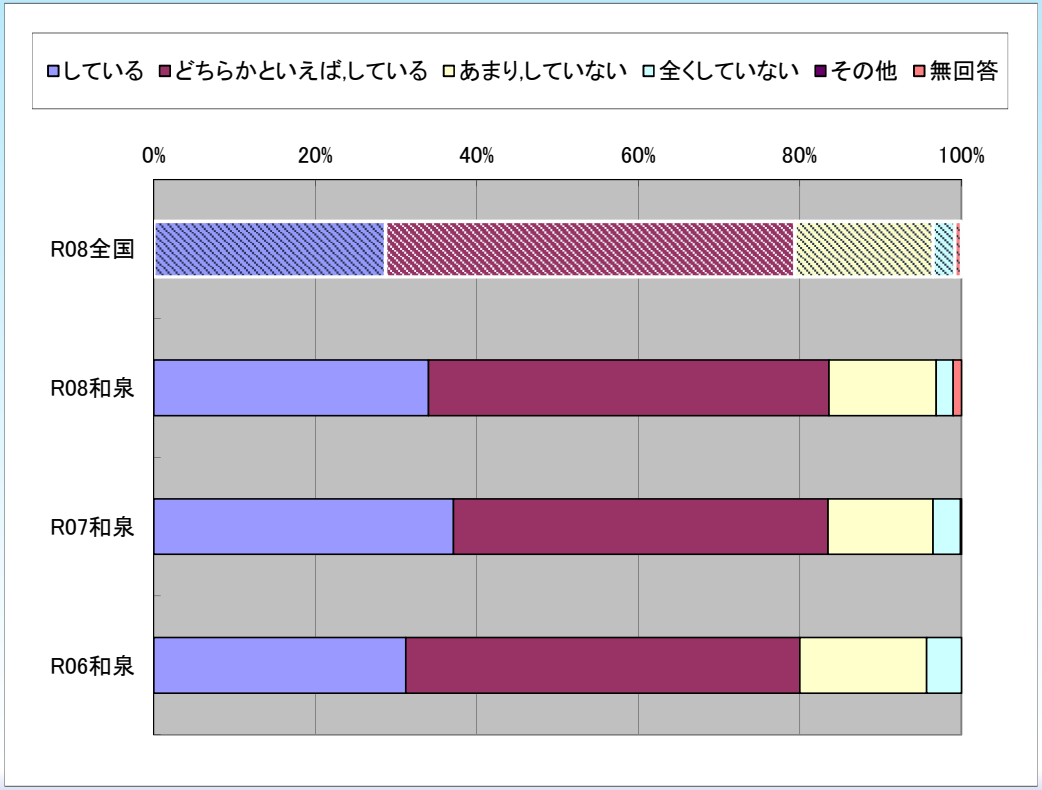
◇3－①「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」の項目では、肯定的な回答は小・中学校ともに高い割合となっているものの、昨年度より低下しています。また、「とても当てはまる」の回答については、経年的に低下する傾向もみられます。
◇3－②「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」の項目については、小学校では肯定的な回答が昨年度とほぼ同様となっている一方、中学校では低下しています。

保護者のみなさまへ

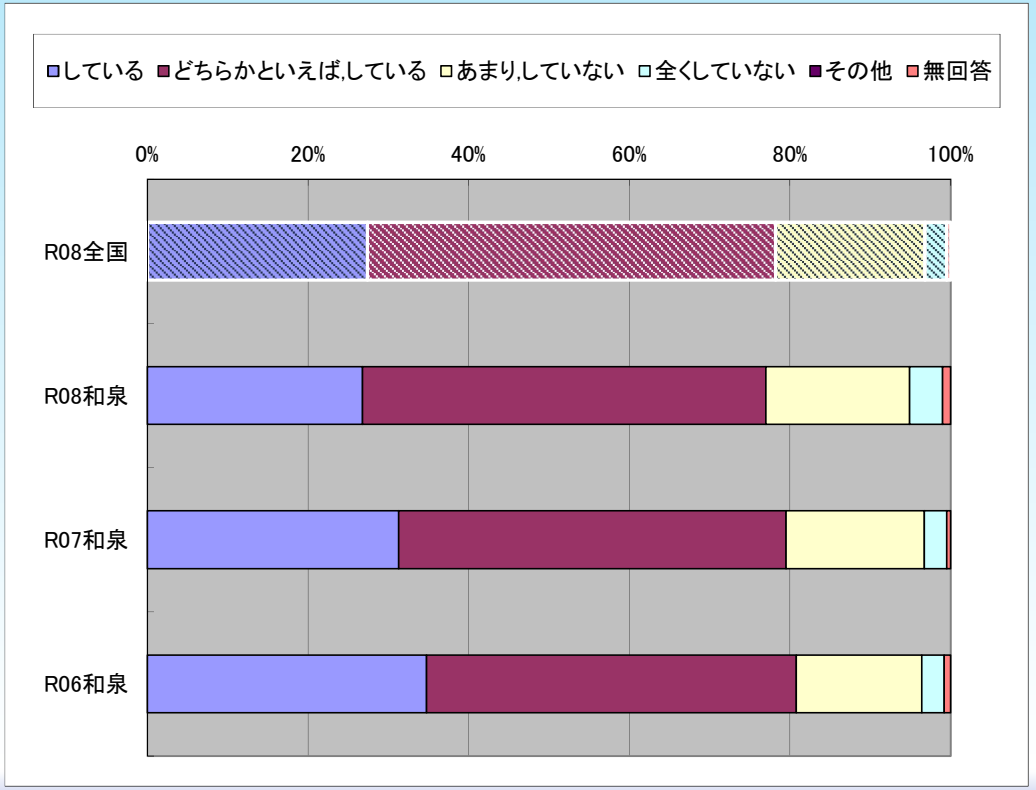
◎一人ひとりの考え方や感じ方には違いがあります。お子さまが友達との出来事を話したら、まず「その時、あなたはどう感じた？ 相手はどう感じたかな」と聞き、考えの違いを一緒に整理してみてください。考え方や感じ方の違いを受けとめる力を育むことが、よりよい人間関係を築く力につながります。
◎いじめを許さず、自分も相手も大切にするためには、日頃から物事の善悪や自分の行動が周りの人に与える影響について考えることが大切です。ご家庭でも、日々の出来事を話題にしながら、お子さまの考えに耳を傾け、互いの意見を伝え合う機会を大切にしてください。

４．自らすすんで学習をする子ども

４－①　分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



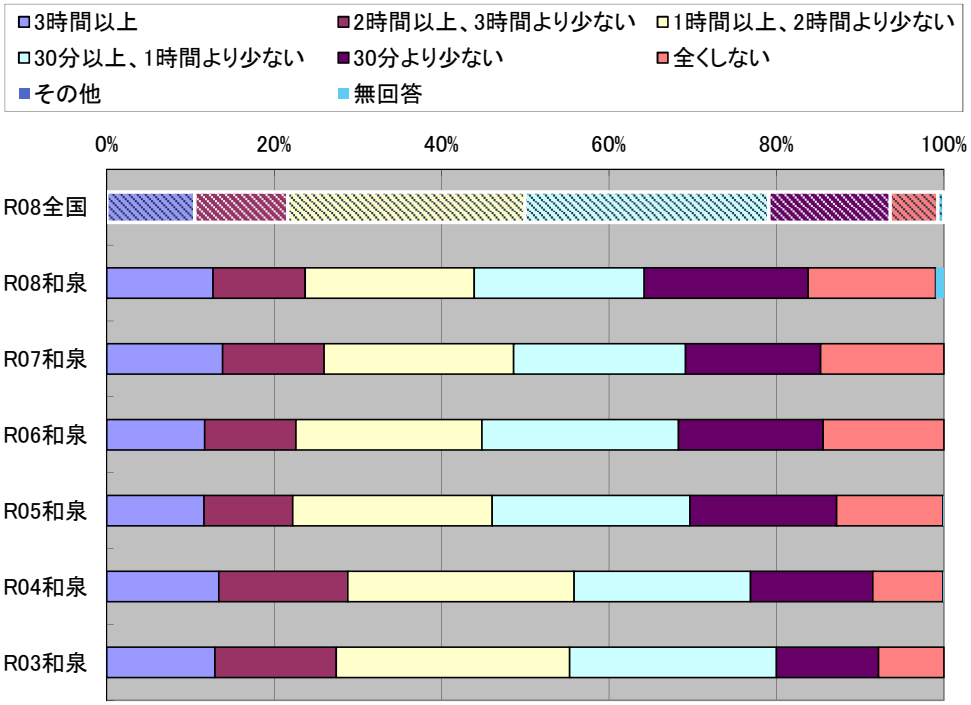
小学校・義務教育学校（前期課程）



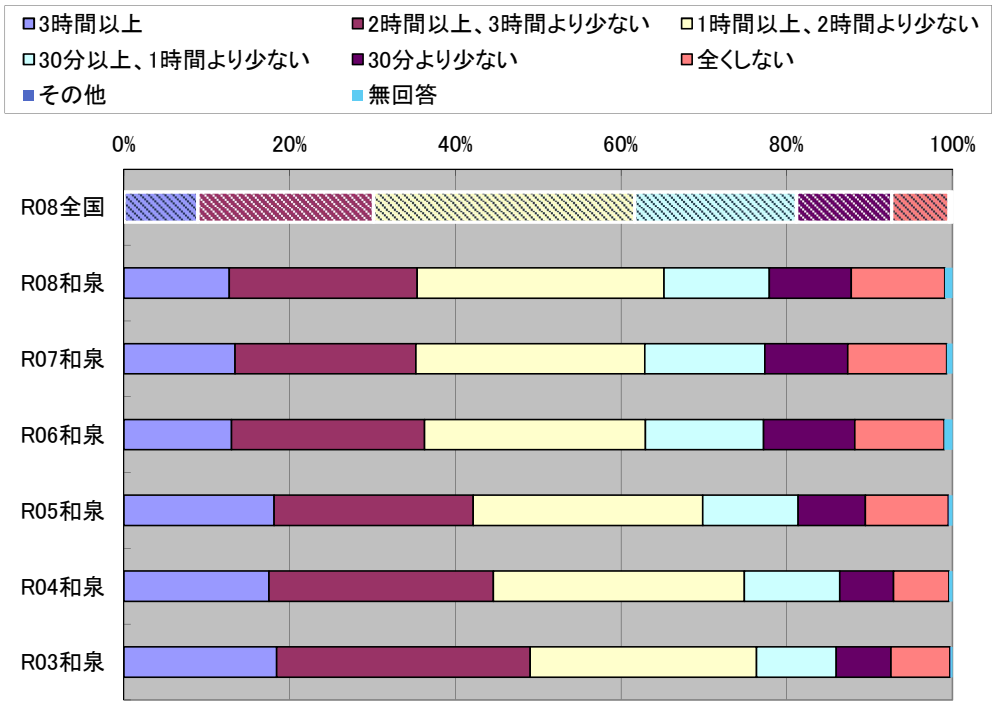
中学校・義務教育学校（後期課程）

4．自らすすんで学習をする子ども

4－②　学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



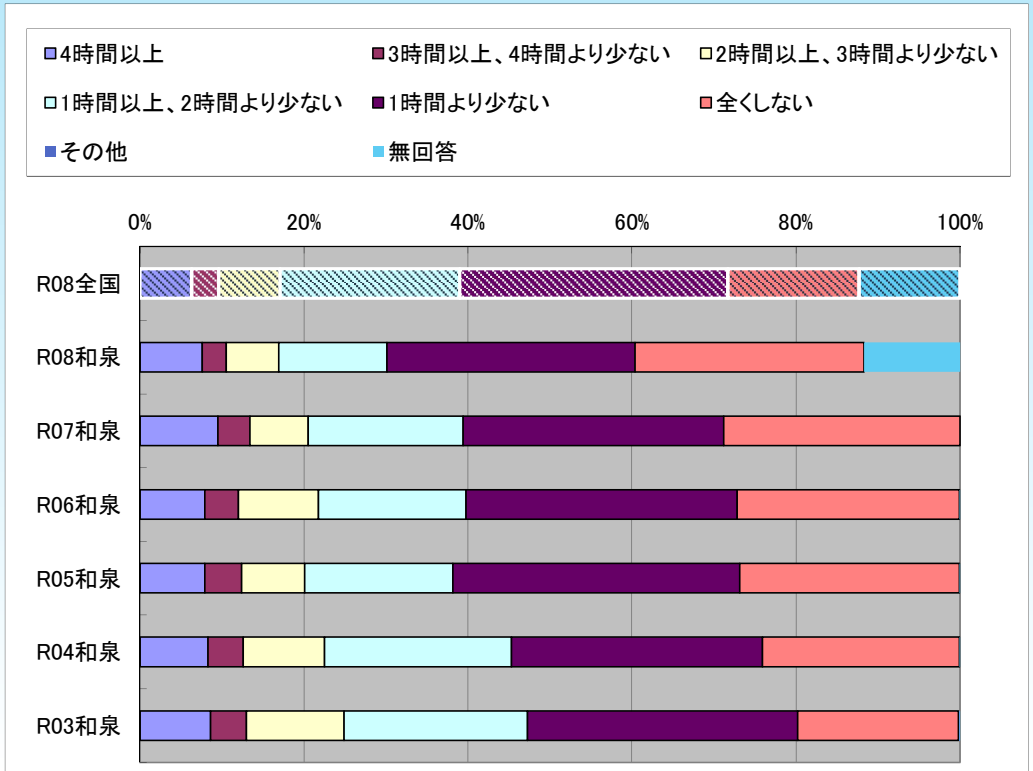
小学校・義務教育学校（前期課程）



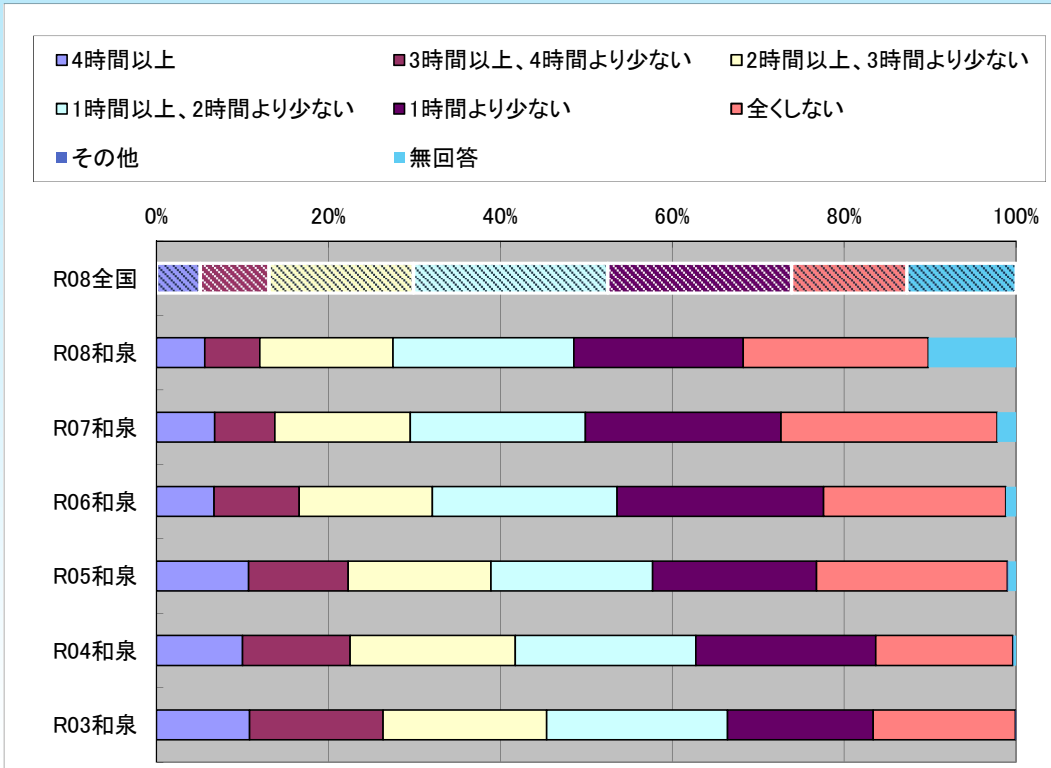
中学校・義務教育学校（後期課程）

４．自らすすんで学習をする子ども

４－③　土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



小学校・義務教育学校（前期課程）



中学校・義務教育学校（後期課程）

4．自らすすんで学習をする子ども

調査結果の概要

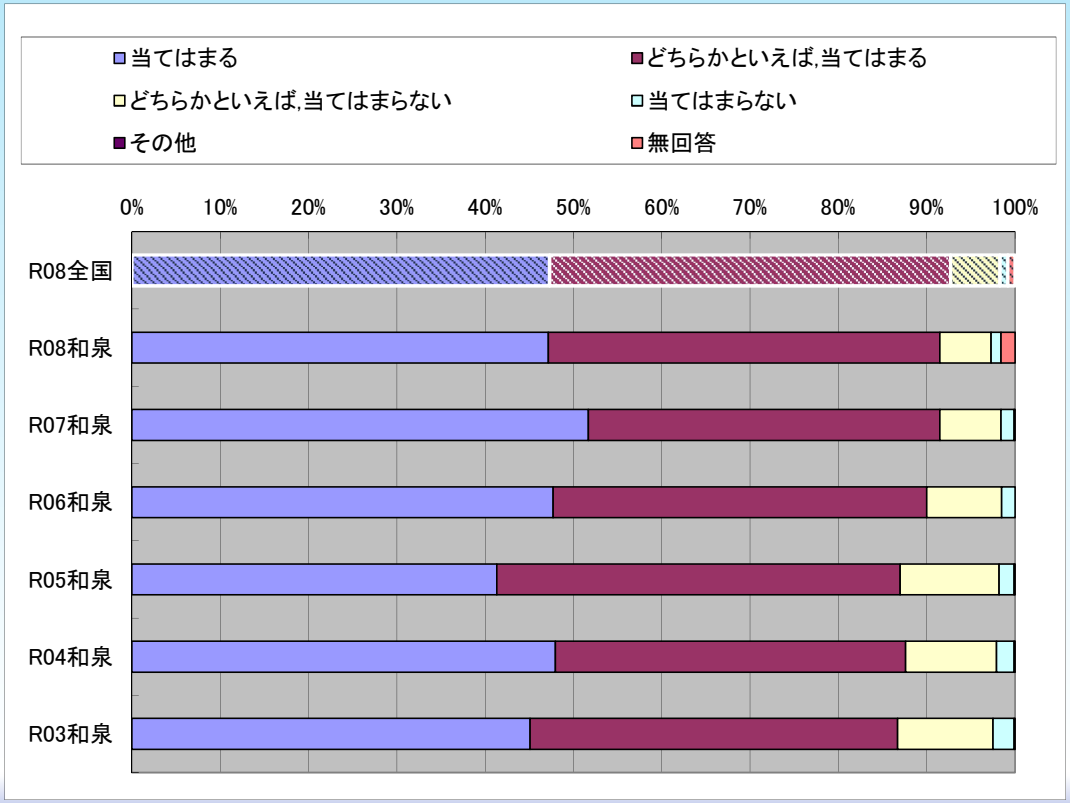
◇4－①「分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することはできているか」の項目では、小学校で肯定的な回答が全国を上回っています。一方、中学校では全国と同水準となっています。
◇4－②「学校の授業時間以外に、普段どれくらいの時間、勉強をしているか」の項目では、長い時間学習している児童生徒が一定数いる一方で、学習時間が短い、または全く学習しない児童生徒の割合も全国より高く、引き続き家庭学習の二極化が課題となっています。
◇4－③「学校が休みの日に、どれくらいの時間、勉強をしているか」の項目でも、家庭での学習時間が短い児童生徒が多い傾向がみられます。

保護者のみなさまへ

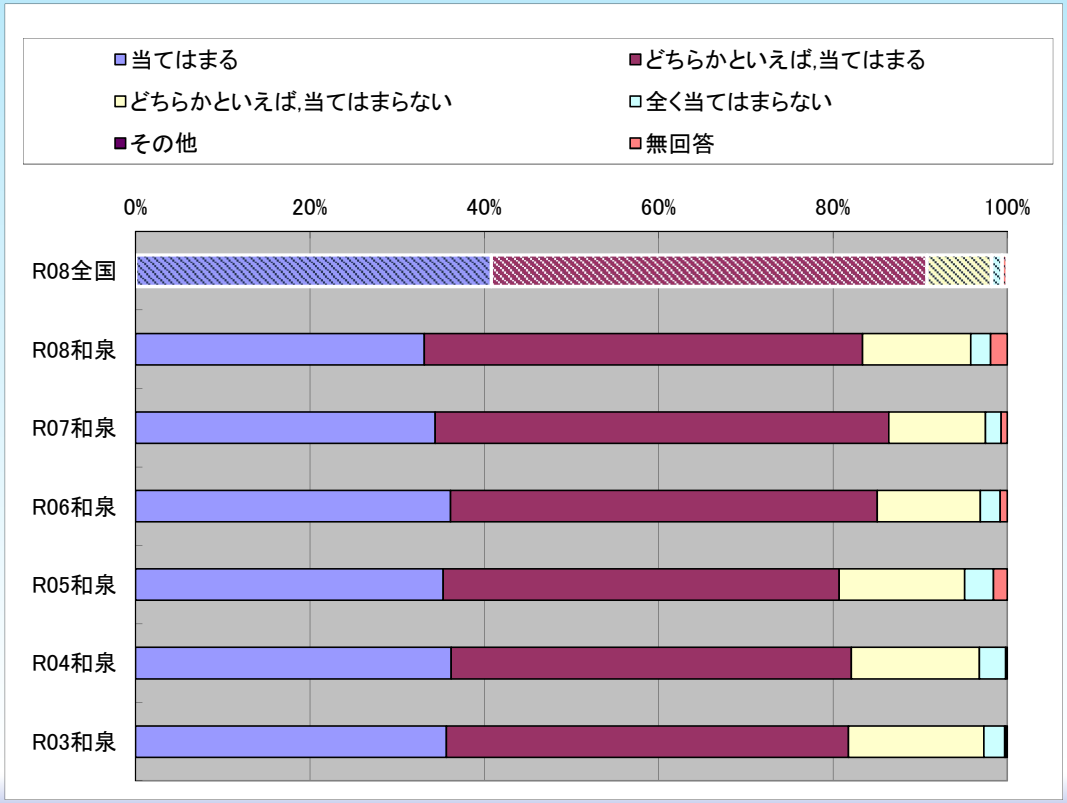
◎家庭学習では、学習時間を確保することとともに、自分に必要な学習を考え、計画的に取り組む習慣を身につけることが大切です。宿題だけでなく、授業で分からなかったことを振り返ったり、興味をもったことをさらに調べたりするなど、自分から学びを広げていくことが、主体的に学ぶ力につながります。
◎分からない問題があれば、すぐに正解を伝えるより「教科書のどこを見たら分かりそう？」「似ている問題はないかな？」と学び方を一緒に考えることも大切です。お子さまが「不思議だな」「もっと知りたいな」と感じていることを大切にし、学習の結果だけでなく、自分で考えて取り組んだ過程にも目を向けながら、温かく声をかけてあげてください。

5．地域と関わり、よりよい社会をめざす子ども

5－①　人が困っているときは、進んで助けていますか



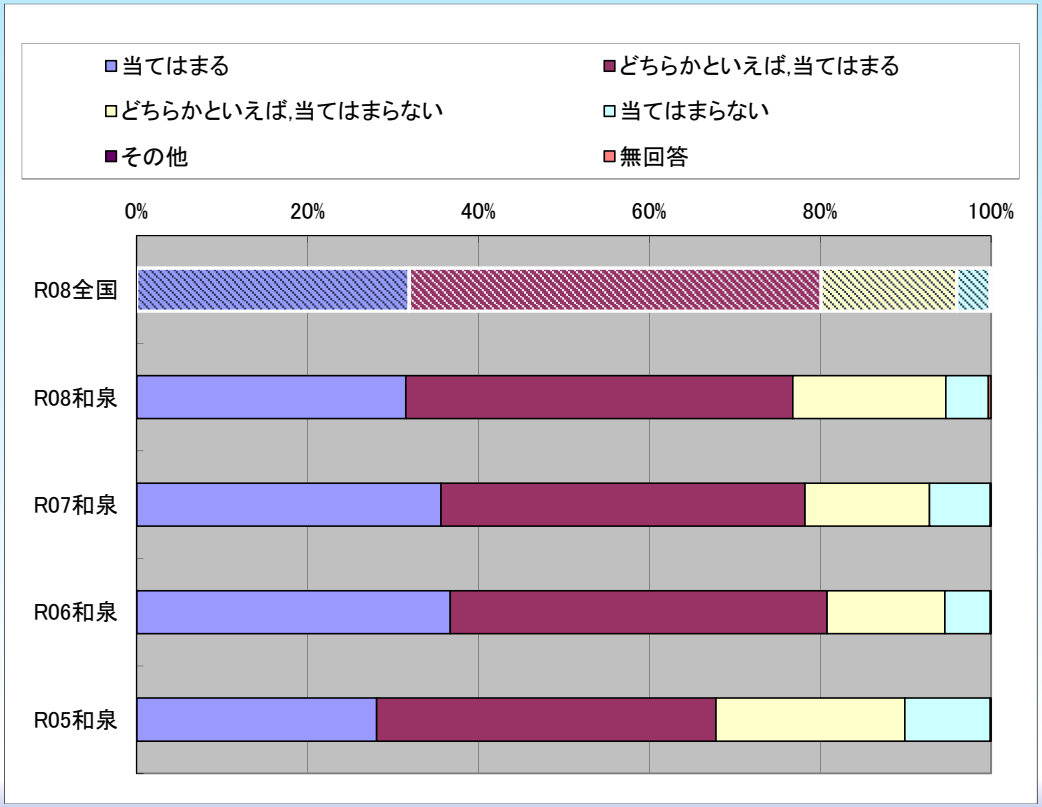
小学校・義務教育学校（前期課程）



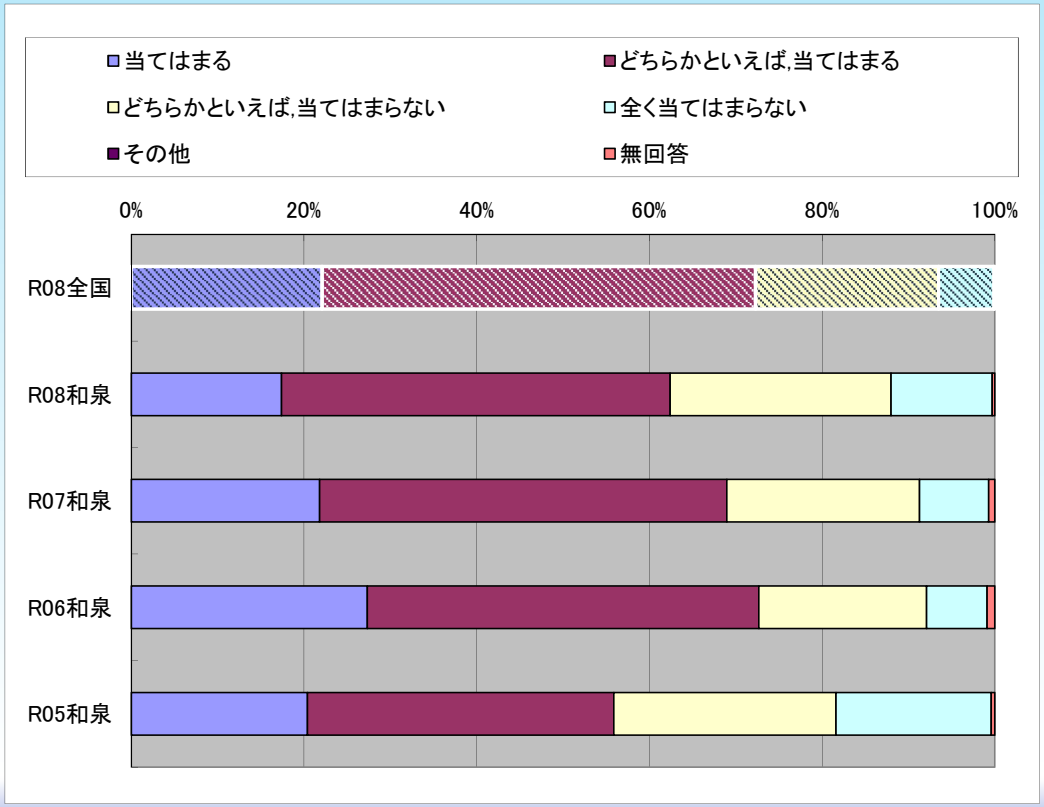
中学校・義務教育学校（後期課程）

５．地域と関わり、よりよい社会をめざす子ども

５－②　地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



小学校・義務教育学校（前期課程）



中学校・義務教育学校（後期課程）

５．地域と関わり、よりよい社会をめざす子ども

調査結果の概要

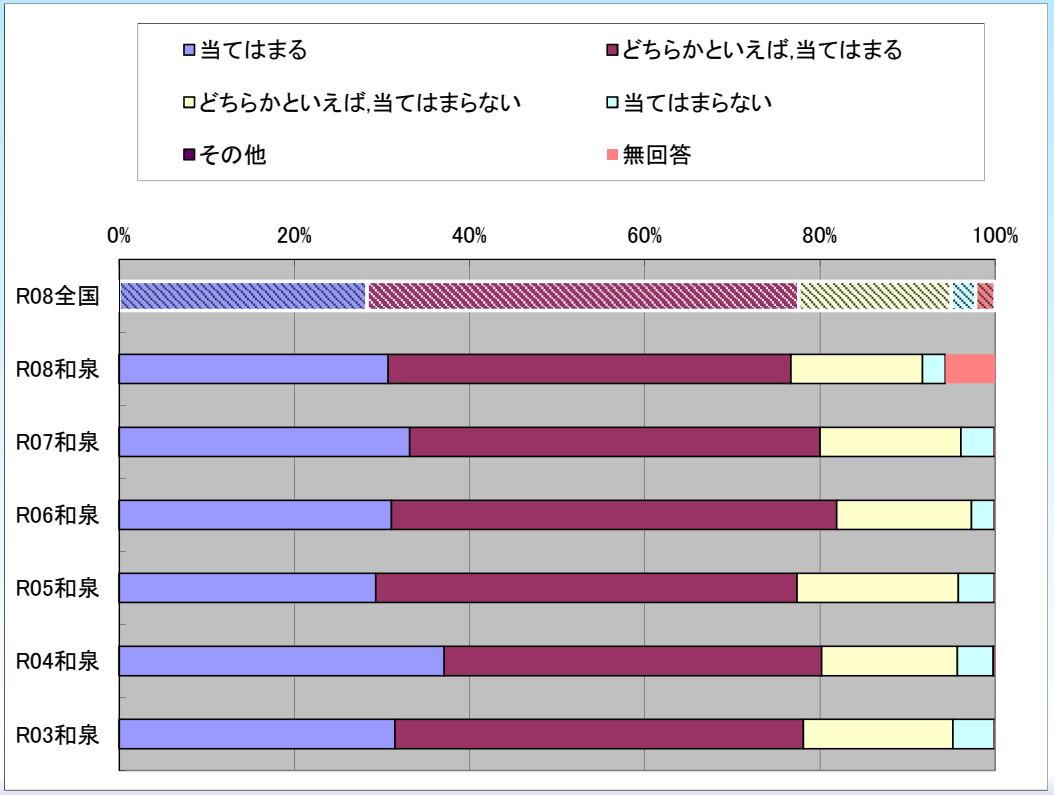
◇５－①「人が困っているときは、進んで助けているか」の項目では、小学校では昨年度とほぼ同様の全国水準となっていますが、中学校では肯定的な回答の割合が低下しています。
◇５－②「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか」の項目では、小・中学校ともに昨年度より肯定的な回答の割合が低下しており、特に中学校では全国との差がみられます。

保護者のみなさまへ

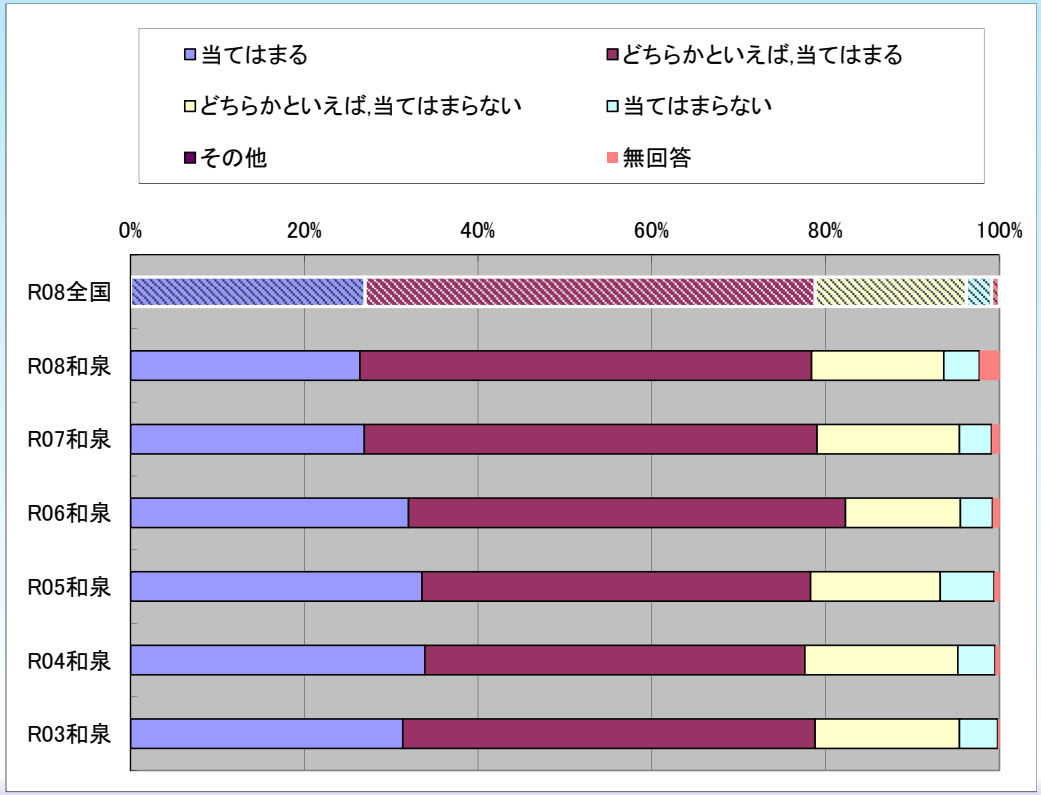
◎地域の方へのあいさつや、困っている人に声をかけることなど、日常生活の中での小さな関わりは、子どもたちが自分も地域や社会の一員であると感じるきっかけになります。
◎地域の行事や自然、文化などに触れ、様々な世代の人と関わる経験は、自分たちが暮らす地域への関心を高めます。ご家庭でも、地域で起こっていることや社会の出来事について話題にし、「この出来事について、あなたはどう感じたかな」「自分たちにできることは何だろう」とお子さまと一緒に考える機会を大切にしてください。

6．楽しく学び続ける子ども

6－①　これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいましたか



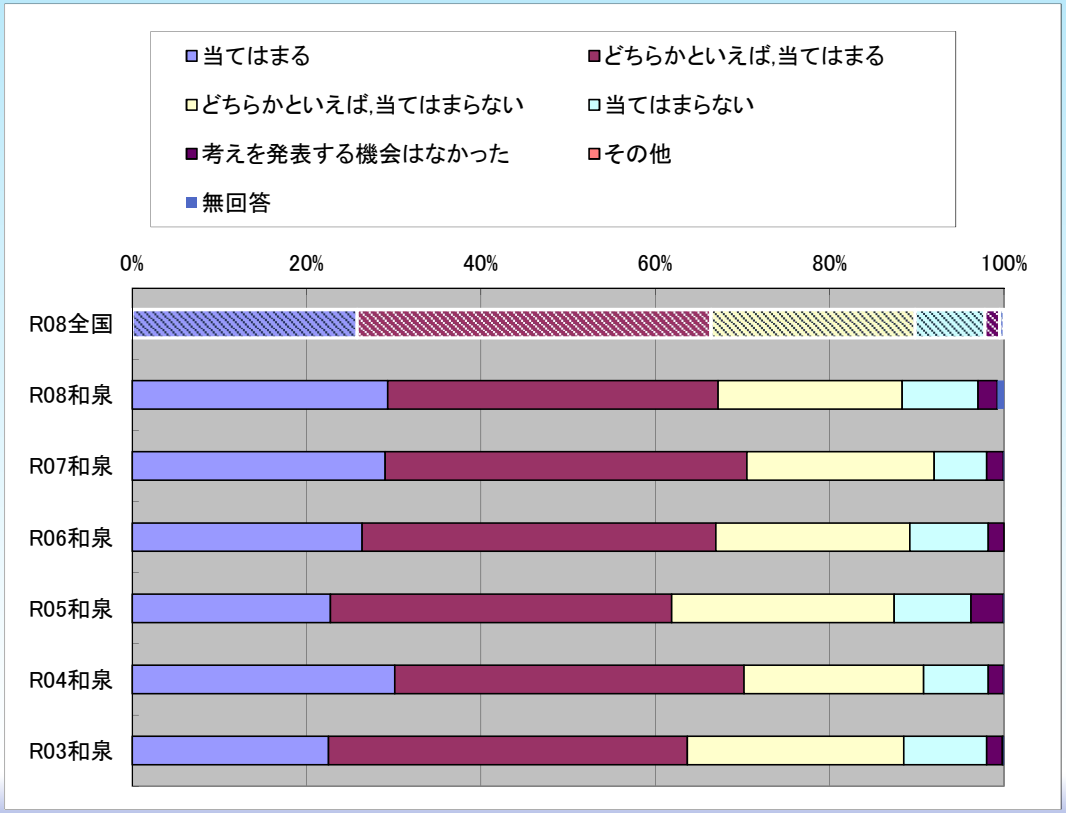
小学校・義務教育学校（前期課程）



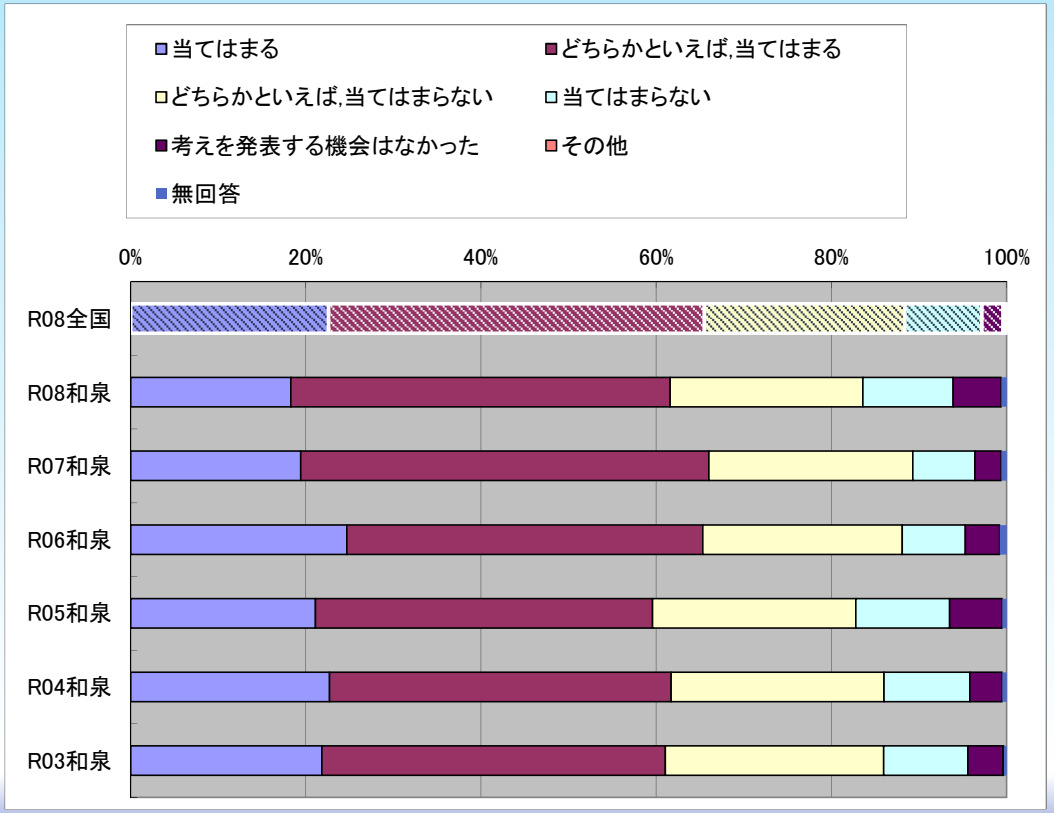
中学校・義務教育学校（後期課程）

6．楽しく学び続ける子ども

6－②　これまでに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



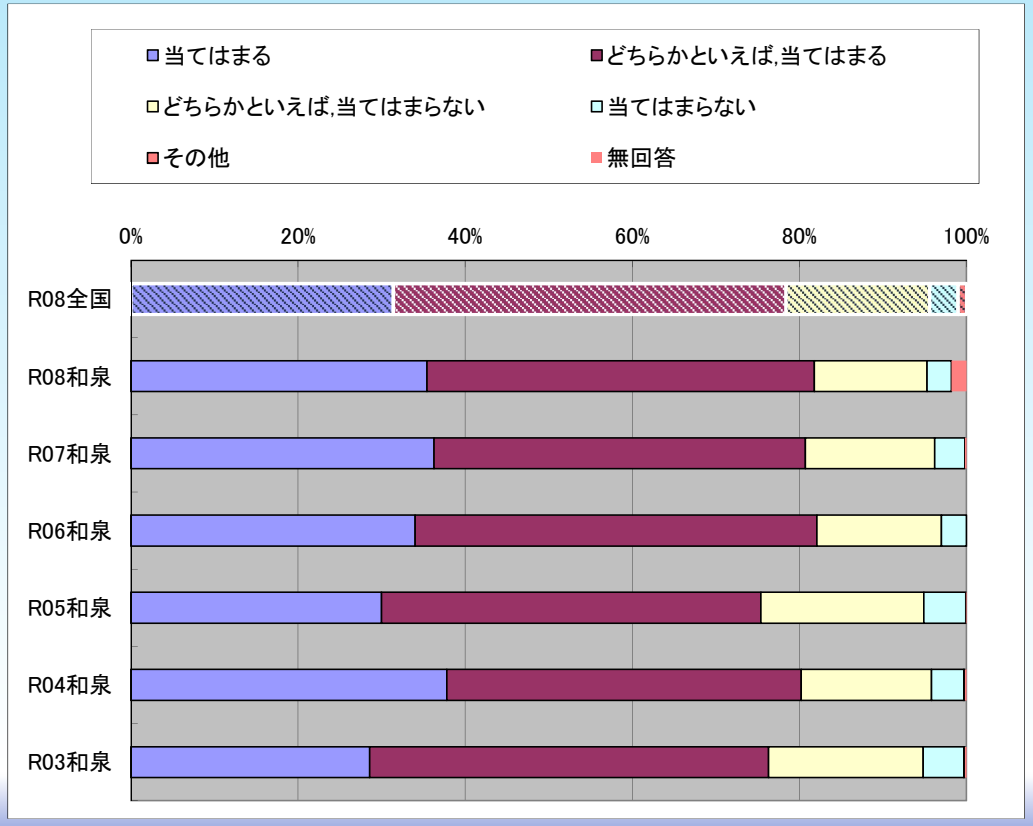
小学校・義務教育学校（前期課程）



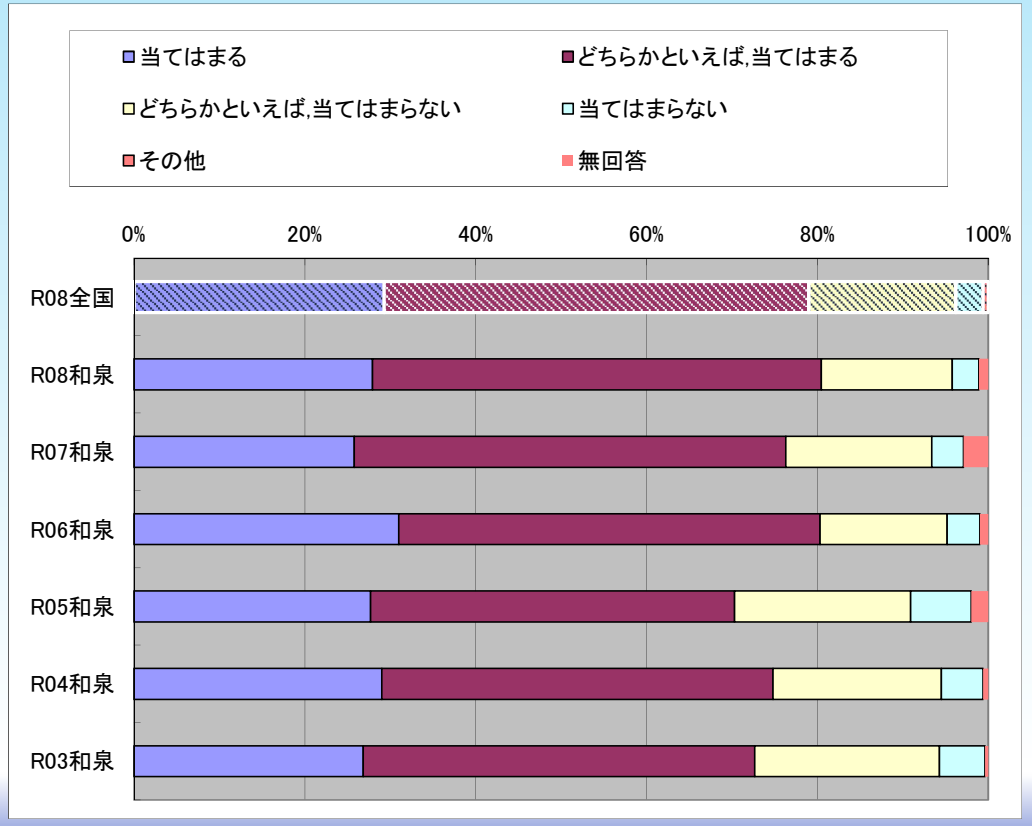
中学校・義務教育学校（後期課程）

6．楽しく学び続ける子ども

6－③　学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



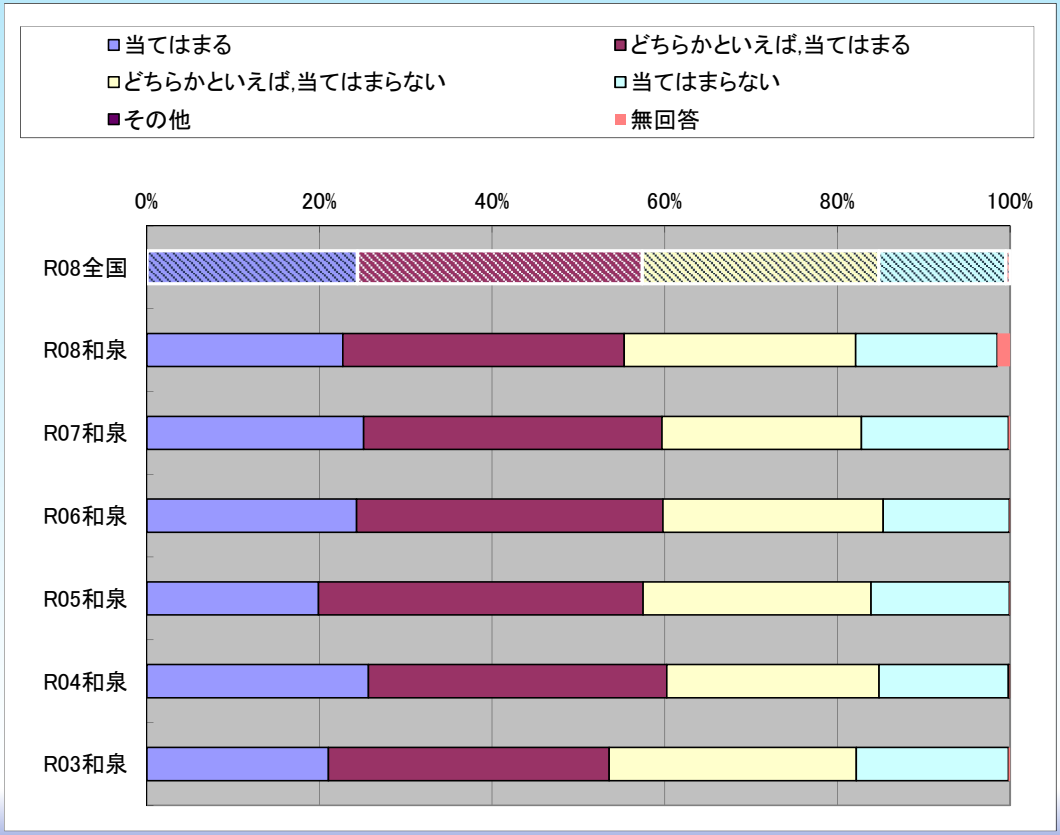
小学校・義務教育学校（前期課程）



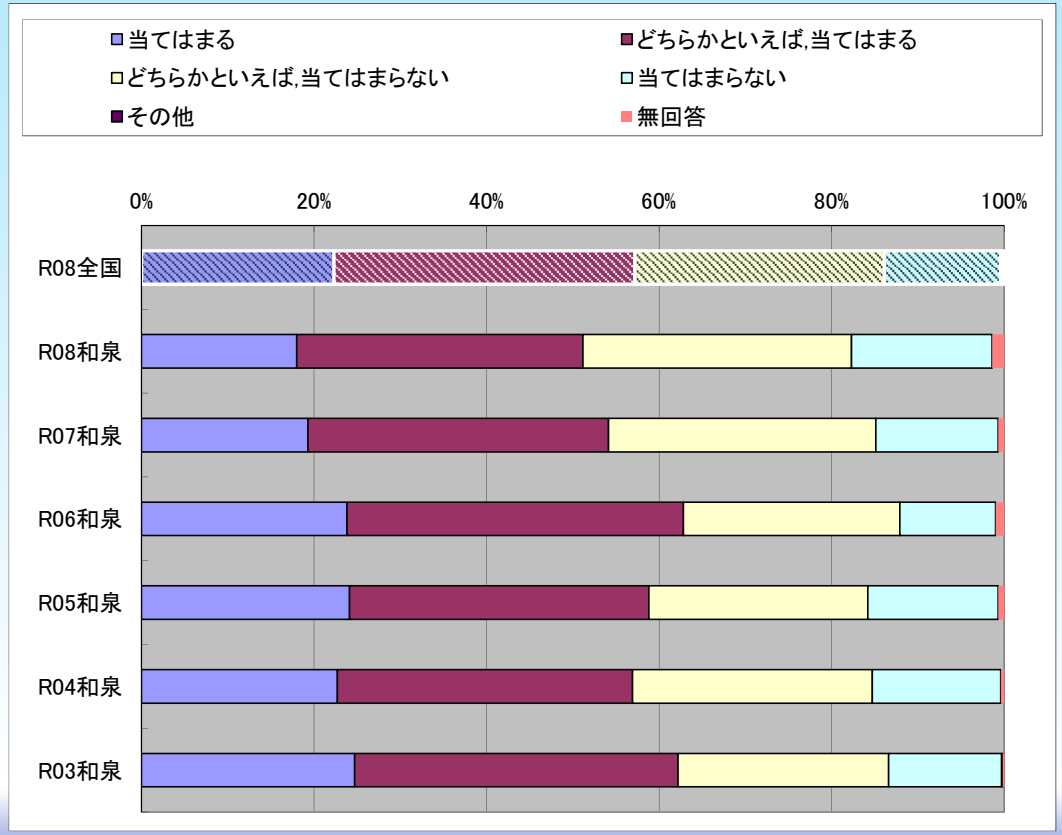
中学校・義務教育学校（後期課程）

6．楽しく学び続ける子ども

6－④　国語の勉強は好きですか



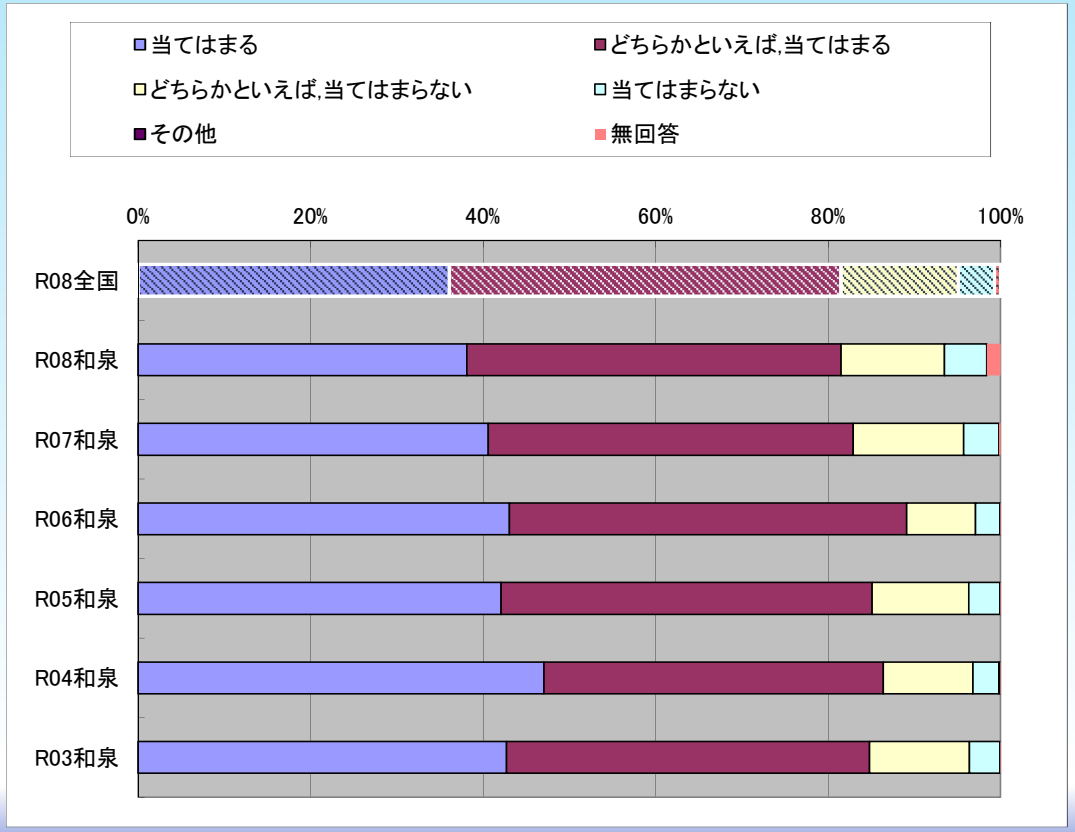
小学校・義務教育学校（前期課程）



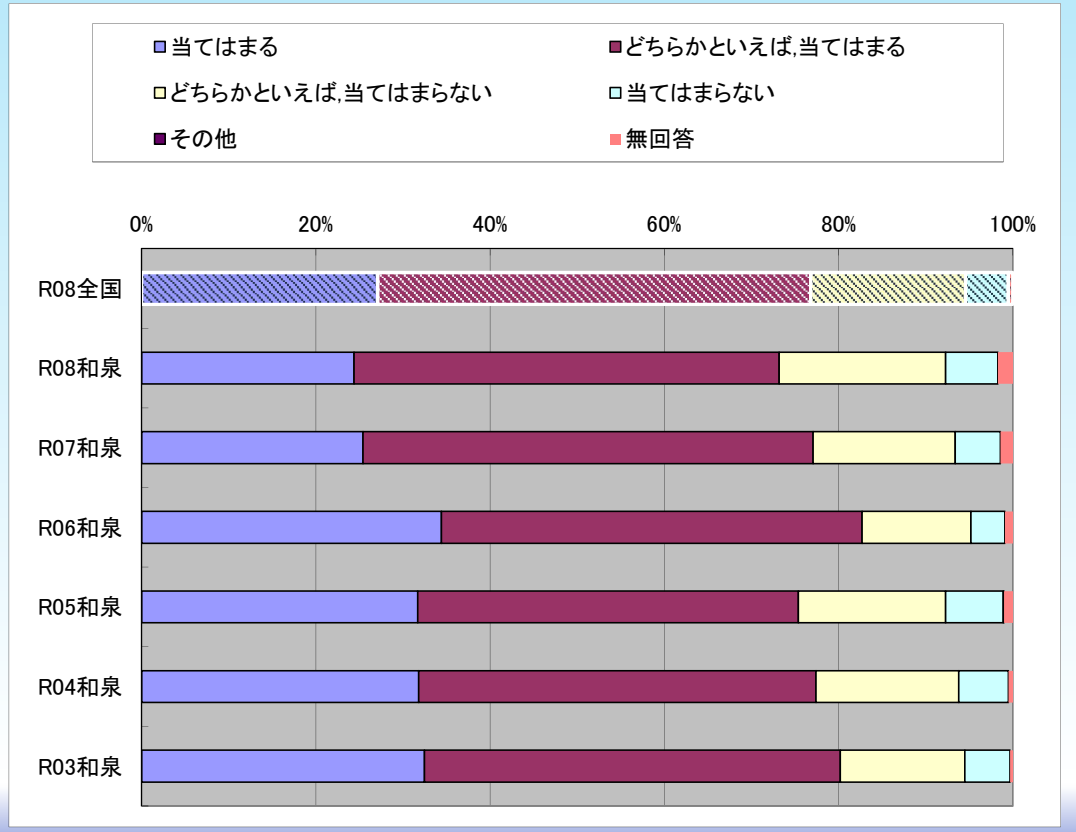
中学校・義務教育学校（後期課程）

6．楽しく学び続ける子ども

6－⑤　国語の授業の内容はよくわかりますか



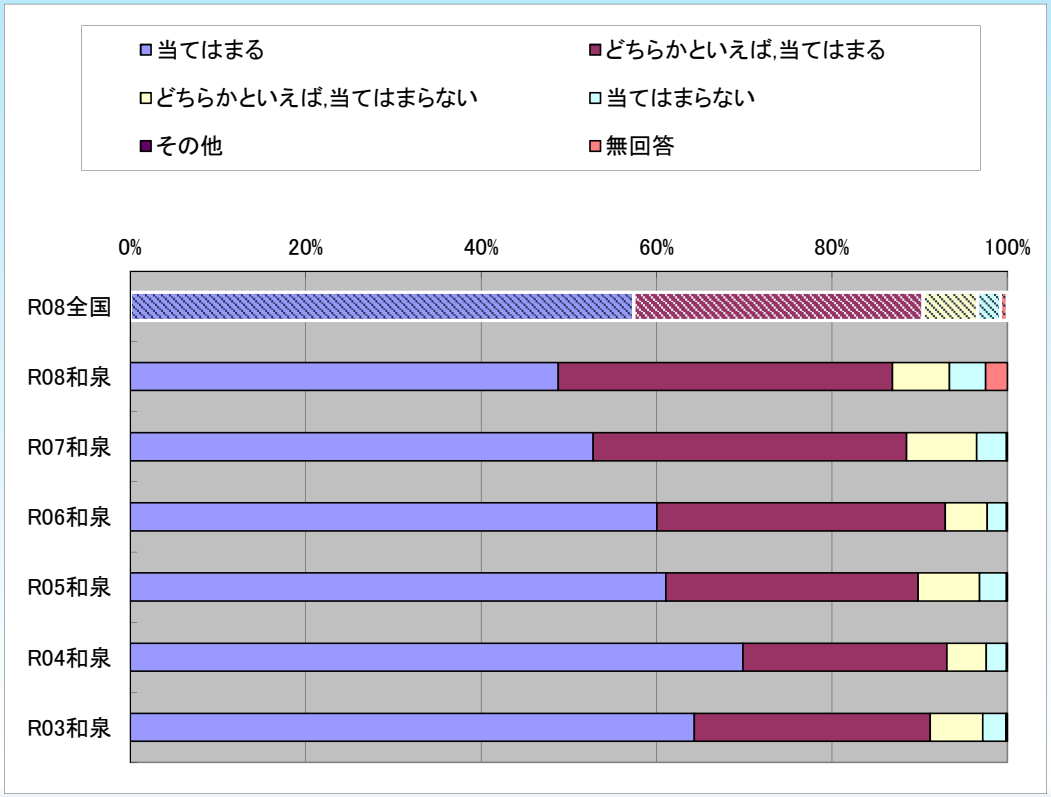
小学校・義務教育学校（前期課程）



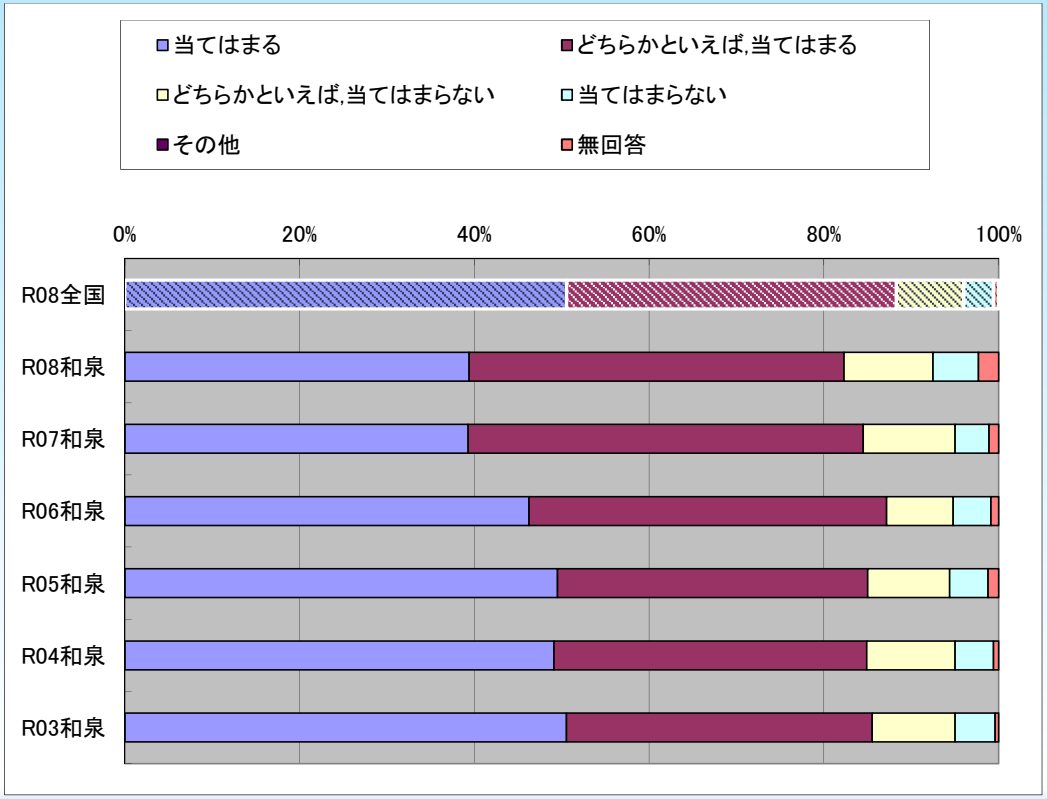
中学校・義務教育学校（後期課程）

6．楽しく学び続ける子ども

6－⑥　国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役立つと思いますか



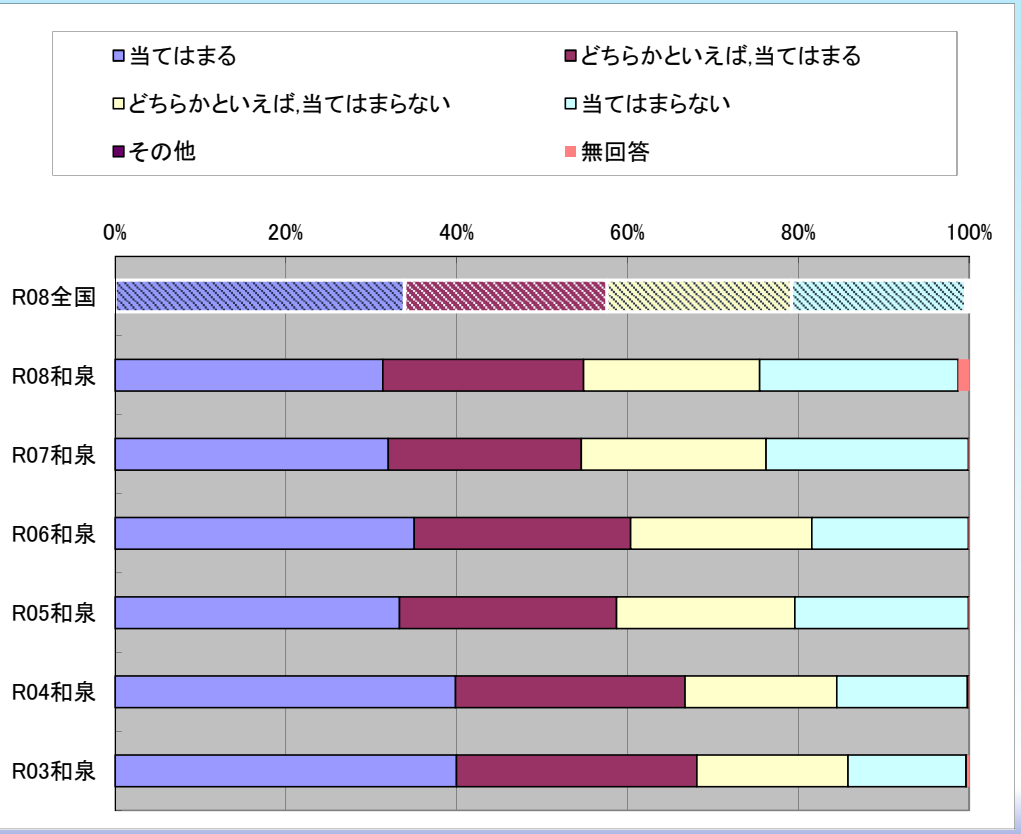
小学校・義務教育学校（前期課程）



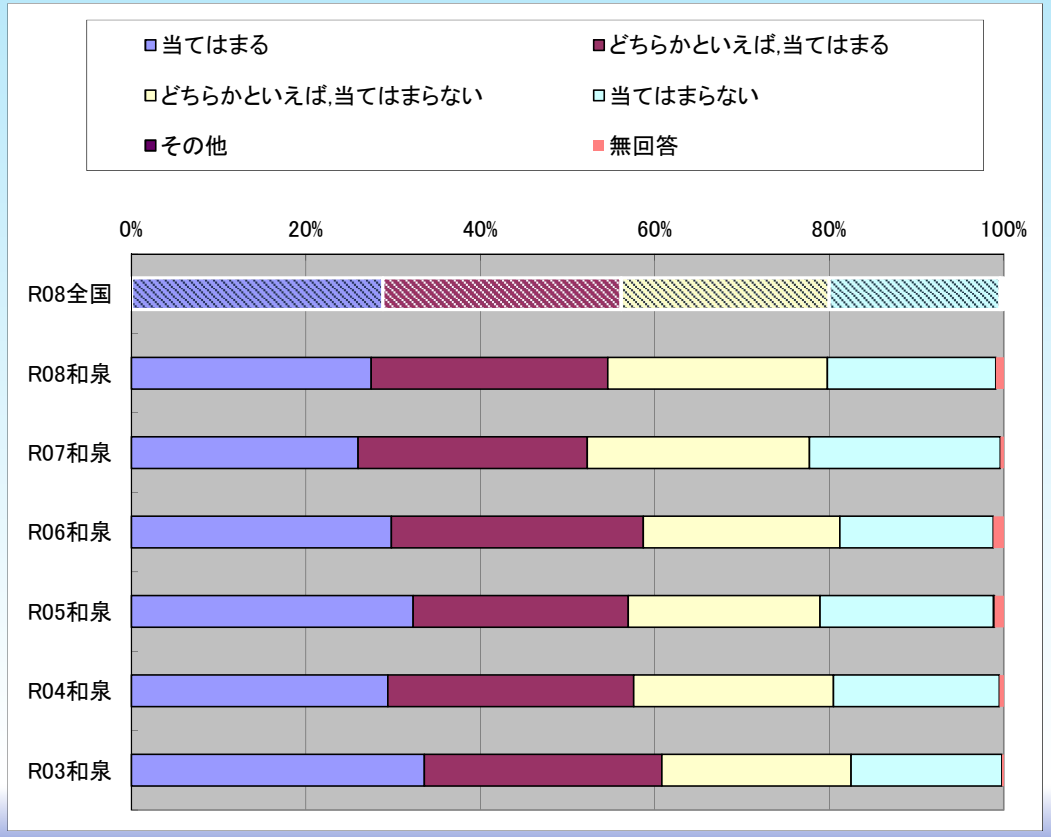
中学校・義務教育学校（後期課程）

6．楽しく学び続ける子ども

6－⑦　算数・数学の勉強は好きですか



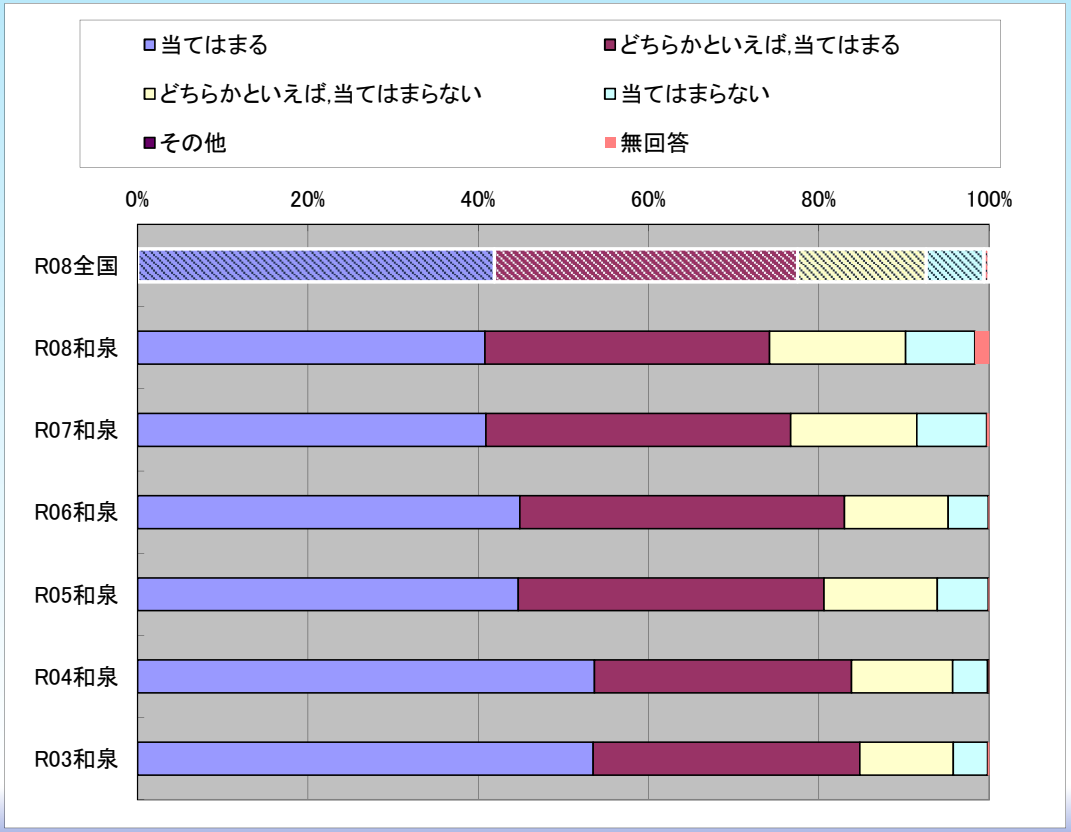
小学校・義務教育学校（前期課程）



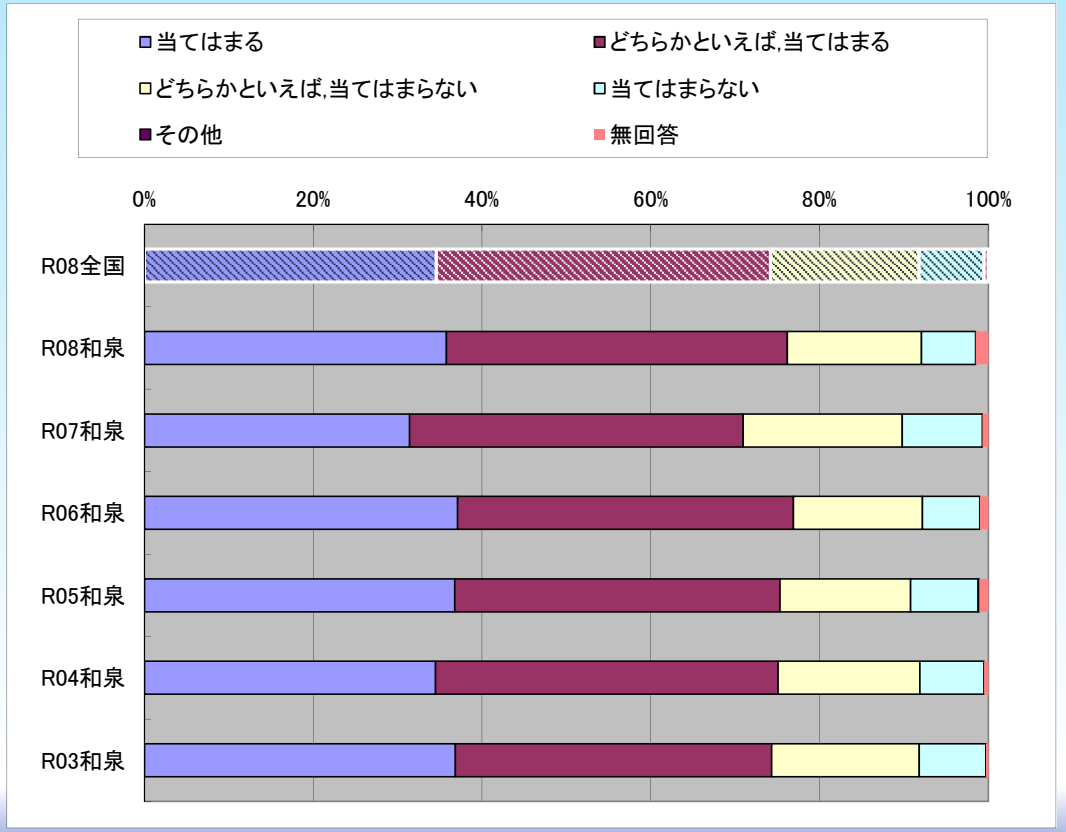
中学校・義務教育学校（後期課程）

6．楽しく学び続ける子ども

6－⑧　算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



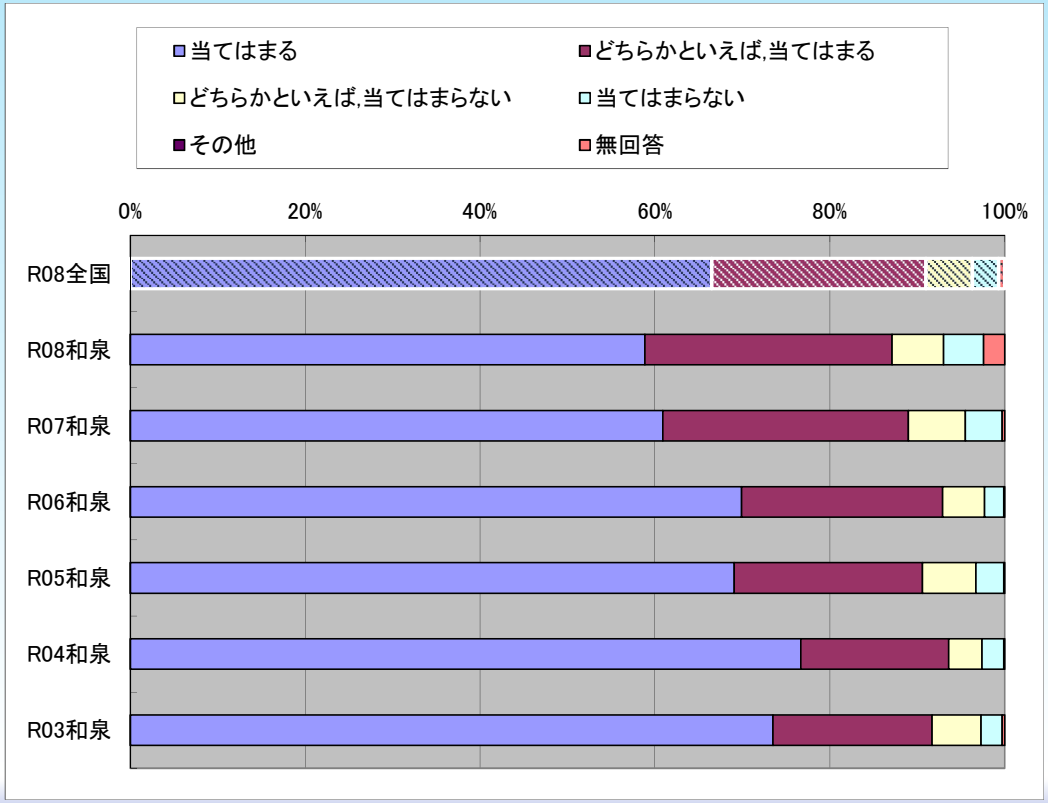
小学校・義務教育学校（前期課程）



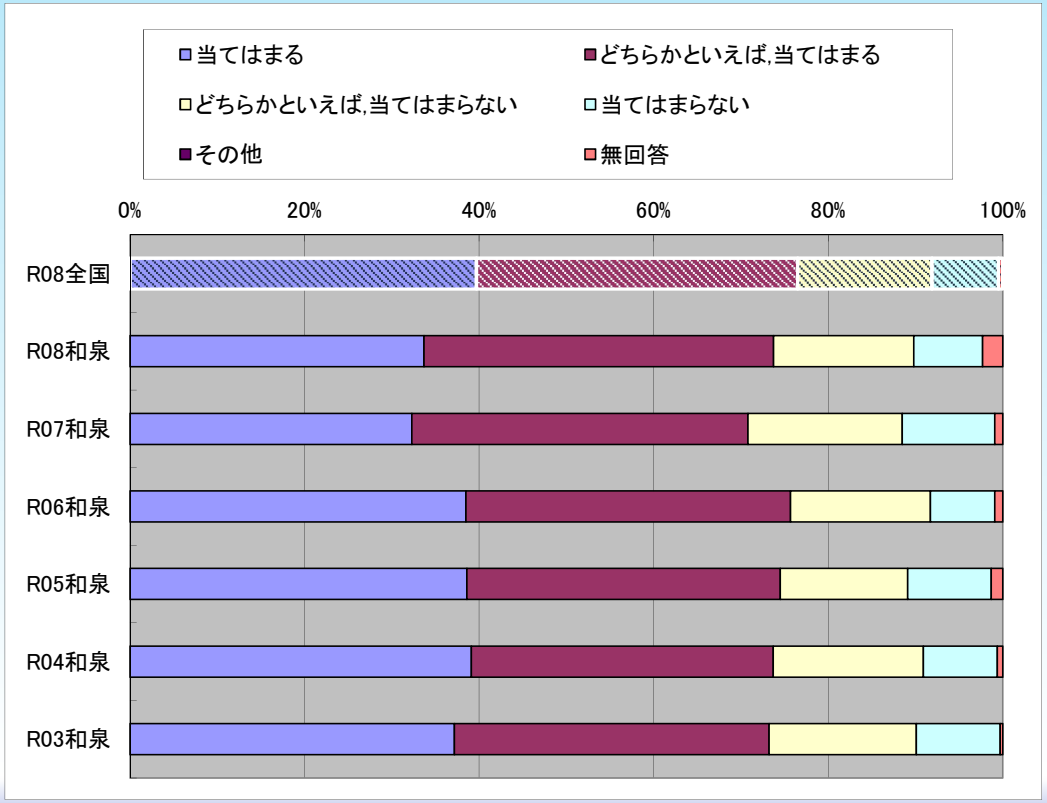
中学校・義務教育学校（後期課程）

6．楽しく学び続ける子ども

6－⑨　算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか



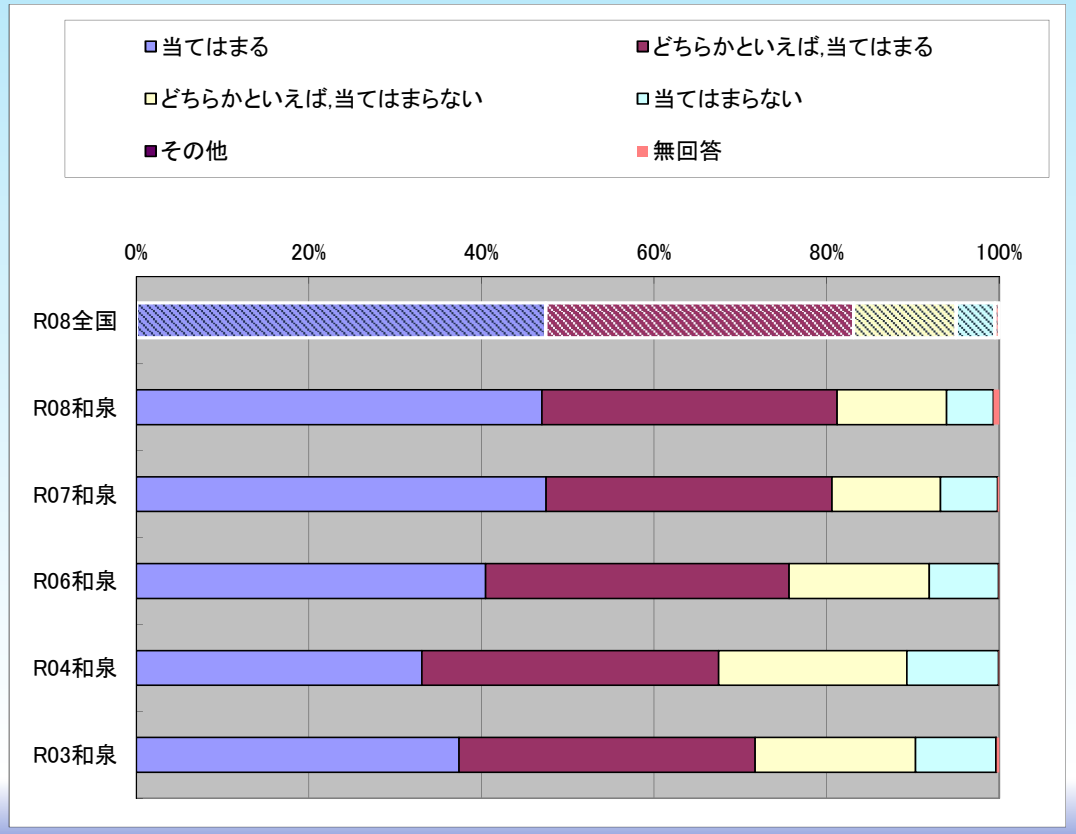
小学校・義務教育学校（前期課程）



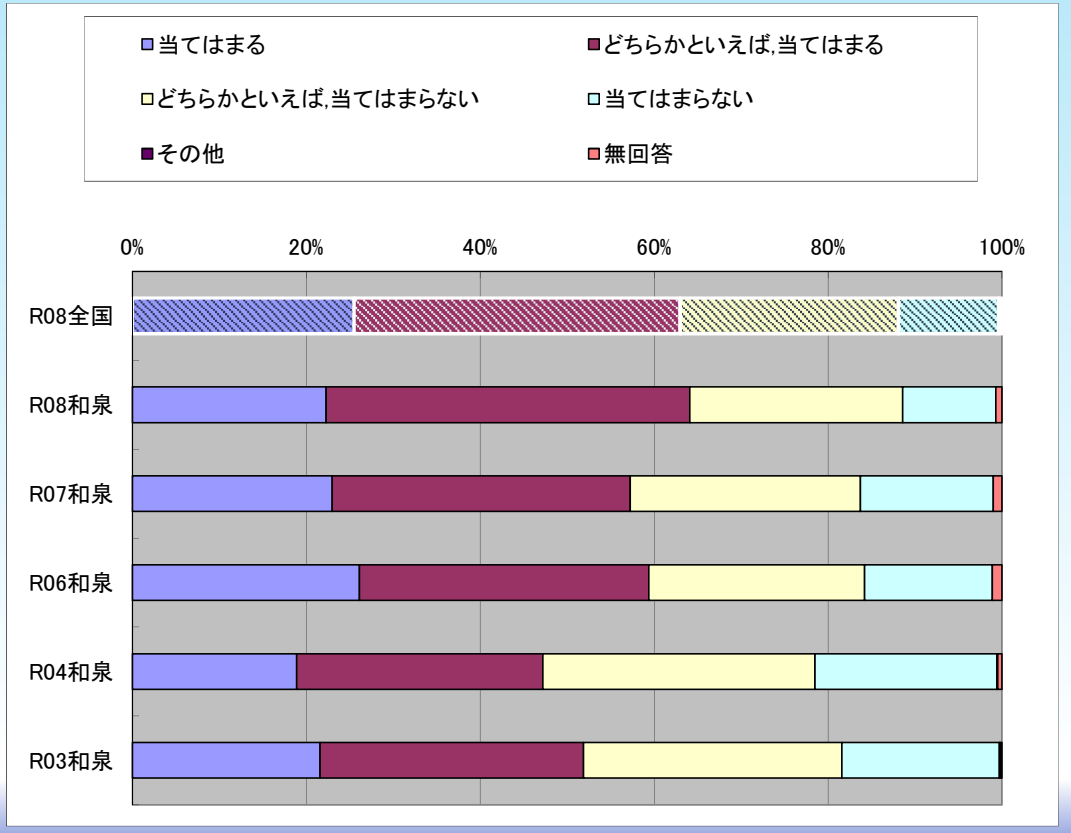
中学校・義務教育学校（後期課程）

6．楽しく学び続ける子ども

6－⑩　算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか



小学校・義務教育学校（前期課程）



中学校・義務教育学校（後期課程）

6．楽しく学び続ける子ども

調査結果の概要

◇6－①「課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいたか」の項目では、小・中学校ともに全国とほぼ同様の傾向となっています。
◇6－②「自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していたか」の項目では、小学校では全国と同程度となっている一方、中学校では全国を下回っています。
◇6－③「学習した内容を見直し、次の学習につなげることができているか」の項目では、小・中学校ともに全国を上回っており、学習を振り返り、次の学びにつなげる姿がみられます。
◇教科に関する項目では、国語や算数・数学を「好き」と回答する割合や、学習したことが「将来、社会に出た時に役立つ」と捉える割合に、全国を下回る項目がみられます。一方、算数・数学では、学習内容が「よく分かる」と回答する割合に改善がみられるとともに、「学習したことを普段の生活の中で活用できている」と回答する割合も高まっています。

保護者のみなさまへ

◎これからの社会では、知識や技能を身につけるだけでなく、学んだことを使って自分で考え、判断し、表現したり、新たな課題を解決したりする力が求められます。ご家庭でも、日常の会話の中で「どうしてそう考えたの？」「あなたならどうする？」「ほかの方法はあるかな？」など、お子さま自身が考えるきっかけとなる言葉をかけてあげてください。
◎買い物で値段や割合を比べる、料理の手順を読む、外国語の案内を読んでみるなど、教科で学んだことが使える場面を一緒に探してみましょう。「学んだことが、ここでも役立っているね」と声をかけることで、社会や生活と自分の学びの関連を意識したり、学ぶことの意義や楽しさを感じたりすることができます。お子さまが「分かった」「できた」という実感を積み重ねながら、学んだことを生活や社会の中で生かしていけるよう、主体的に学ぶ姿を見守り、支えてあげてください。